

オプション取扱説明書

製品名/オプション名 集中管理システム エスペックオンラインコア/ 試験管理拡張パッケージ	品番	4427104000560
	作成	2016.03.10
	改訂	2020.06.30

取扱説明書と相違する事項については、すべてこのオプション取扱説明書が優先します。

1. 適用製品

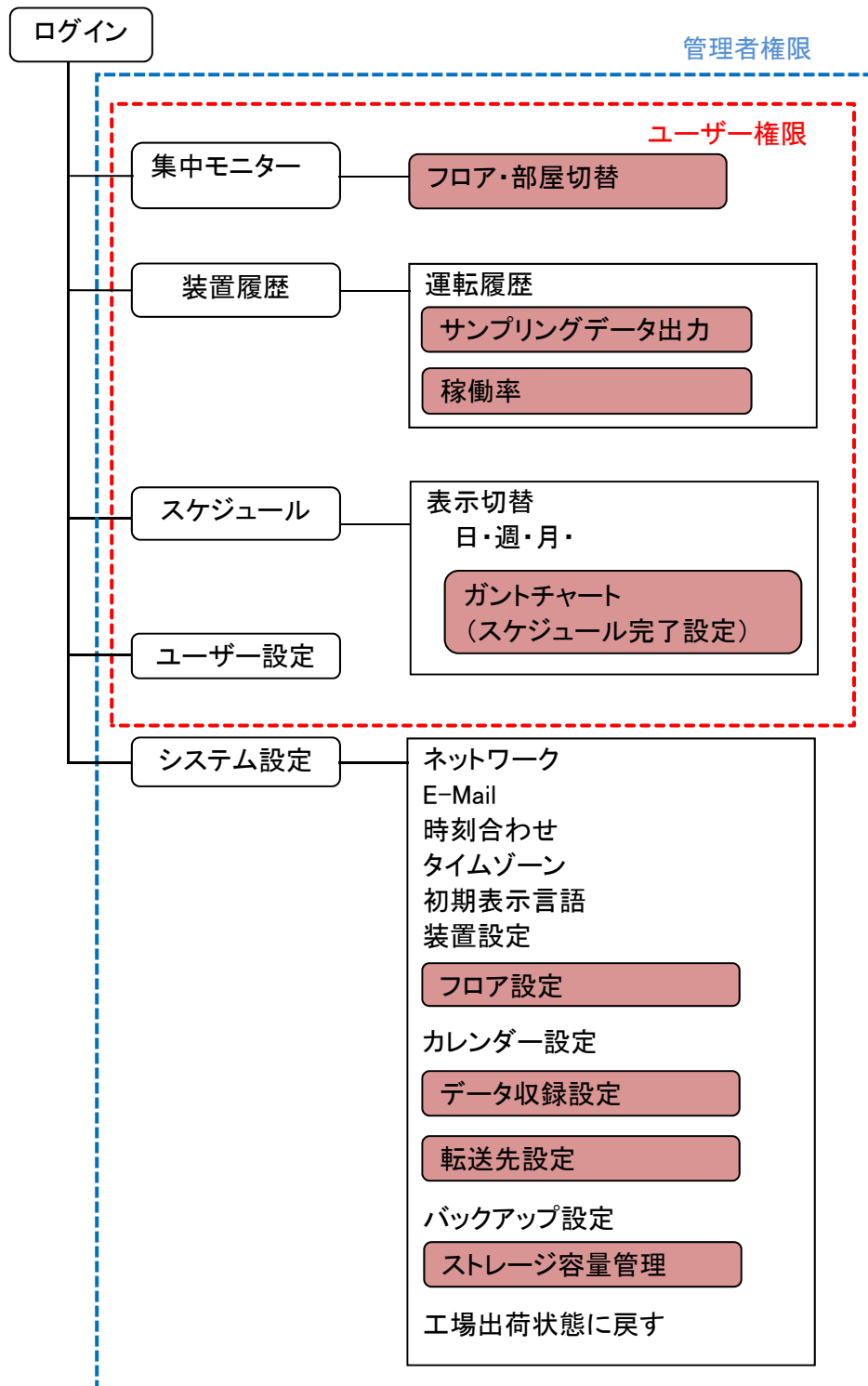
集中管理システム/エスペックオンラインコア

2. 試験管理拡張パッケージについて

- ① モニター機能 フロアおよび部屋別モニター
フロアを最大 10 件、各フロアに最大 9 件の部屋を登録することができます。
集中モニター画面にて部屋単位の分割表示をすることができます。
- ② スケジュール機能 ガントチャート
あらかじめスケジュール画面で設定した試験日程を、ガントチャート表示に切り替えることができます。
- ③ スケジュール機能 装置連動スケジューラー
装置運転と連動し、試験の進捗状態をガントチャート画面にて表示することができます。
また、1 時間に 1 回登録しているスケジュールと装置運転状況を確認し、スケジュール終了予定が超過する場合に、担当者と次の利用予定者の電子メールアドレスに、終了予定超過メールを送信することができます。
- ④ サンプルングデータ出力機能
エスペックオンラインコアが自動収集した、もしくは装置から転送されたサンプルングデータをグラフ表示したり、CSV 形式でファイル出力することができます。グラフにてデータ解析やコメント入力を行い、試験レポートとして印刷することができます。
- ⑤ サンプルングデータ転送機能
エスペックオンラインコアに保存されたサンプルングデータを、別の FTP サーバーへ自動転送(毎日 2:00)を行い、データを 2 重化することができます。
また、転送したいときに手動でサンプルングデータを転送することもできます。
- ⑥ 稼働率モニター機能
装置をエスペックオンラインコアに接続し、定周期で稼働状況を収録することで、装置の稼働率や総運転時間をモニターすることができます。
装置の稼働率を確認できることで、装置の運用計画が立てやすくなります。
- ⑦ ストレージ容量管理機能
ストレージの現在の使用量と空き容量を確認することができます。
また、指定したデータを削除して空き容量を増やすことができます。

3. Web 機能について

このオプションを導入いただくことによって、以下の 部分が機能追加され、お使いいただけます。



4. 導入手順

エスペックオンラインコアにアドオンファイルをアップロードすることで本オプションが導入されます。

アドオンファイルのアップロード方法は、エスペックオンラインコアの取扱説明書「ファイルアップロード」の項を確認してください。

◆ 参 考 ◆

・本オプションを追加しても、既に設定されている内容は削除されません。

5. モニター機能 フロア別モニター

フロアを最大 10 件、各フロアに最大 9 件の部屋を登録することができます。

集中モニター画面にて部屋単位の分割表示をすることができます。

5.1 フロア設定

この画面では、フロアを登録・削除・変更することができます。

フロアの中に部屋を登録し、各装置と部屋を紐付けることで集中モニターに各装置の情報を表示させることができます。

フロアー一覧

No.	選択	フロア名	備考
1	<input type="checkbox"/>	floor1	
2	<input type="checkbox"/>	floor2	
3	<input type="checkbox"/>	floor3	
4	<input type="checkbox"/>	floor4	
5	<input type="checkbox"/>	技術評価	

- ① フロアを登録します。
- ② 選択されたフロアを削除します。
- ③ フロアを選択します。選択したフロアは②の操作にて削除できます。
- ④ フロアー一覧表示画面です。フロア名、備考が表示されます。初期に「floor1」が設定されています。
- ⑤ クリックするとフロアの設定内容を編集できます。

5.1.1 フロア登録

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 画面下部の「フロア設定」をクリックします。

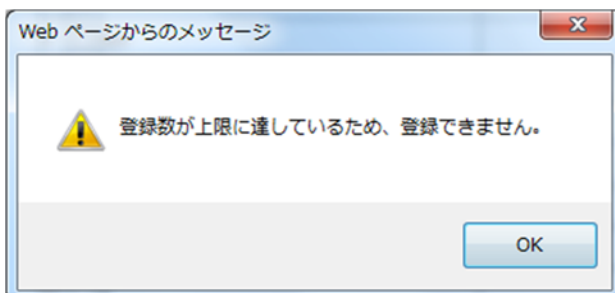


- 3) フロー一覧画面が表示されますので、**追加**をクリックします。
- 4) フロア編集画面が表示されますので、各項目を入力します。

フロア名の入力文字数は 30 文字ですが、集中モニター画面には、16 文字までしか表示されません。16 文字以内で識別できるようにしてください。

- 5) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックします。

登録可能なフロア数は 10 件です。10 件以上登録しようとする、以下のメッセージが表示されて、登録できません。



◆ 参 考 ◆

- ・フロアは全件削除することができません。最低 1 件の登録が必要です。
- ・装置設定で使用しているフロアも削除することができます。あらかじめ装置設定のフロア使用状況を確認してから削除してください。

- 6) 部屋登録を行うフロアを一覧から選択し、該当行の**編集**をクリックします。

フロア設定

フロア一覧

追加 削除

	No.	選択	フロア名	備考
編集	1	<input type="checkbox"/>	floor1	
編集	2	<input type="checkbox"/>	floor2	
編集	3	<input type="checkbox"/>	floor3	
編集	4	<input type="checkbox"/>	技術評価	
編集	5	<input checked="" type="checkbox"/>	floor4	

保存 キャンセル

フロア編集

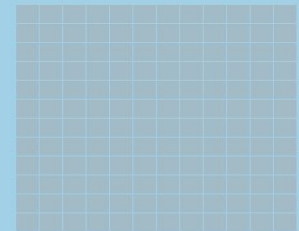
フロア名編集	<input type="text" value="floor4"/>
備考	<input type="text"/>

部屋一覧

削除

No.	選択	部屋名	背景画像
-----	----	-----	------

部屋登録



登録する部屋の形をドラッグしてください

- 画面右下の「部屋登録」のグレーのマスを使って、部屋の形を決めます。任意の形をドラッグします。
- ドラッグが終わると部屋設定画面が表示されますので部屋名を選択し、**設定**をクリックします。

部屋設定

部屋名

新規部屋1 ▼

設定

キャンセル

- 設定された部屋は部屋一覧に表示されます。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名編集

A棟 実験室1

備考

部屋一覧

削除

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input checked="" type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択

参照 クリア

部屋登録

1

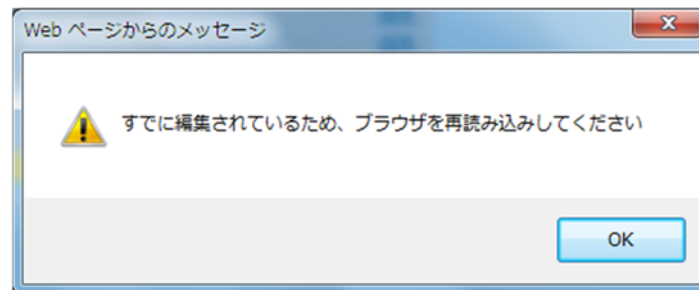
登録する部屋の形をドラッグしてください

- 部屋名を編集します。部屋名の入力文字数は最大 30 文字です。
- 集中モニター画面に表示する部屋の背景画像を任意に登録することができます。
参照をクリックし、任意の画像ファイルを選択してください。
 選択したファイルを解除したいときは**クリア**をクリックしてください。
 ※ 登録できるファイルは png、bmp、jpg、gif です。
 背景画像を設定しない場合、および画像以外のファイル(txt、xls 等)を登録した場合の背景色は黒です。
 画像はフロアの横幅に合わせて拡大/縮小されます。部屋の形状やサイズによっては画像が切れることがあります。

12) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックしてください。

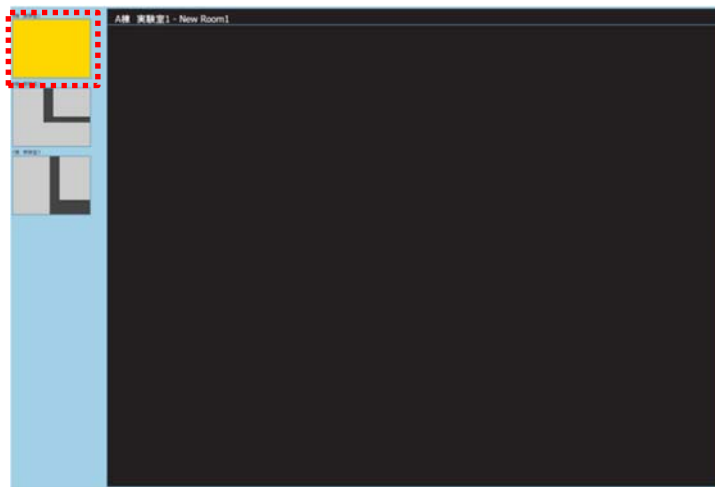
◆ 参 考 ◆

- ・保存ボタンをクリックした際に、すでに他で編集が行われていた場合は、以下のメッセージが表示され、編集内容が破棄されます。



5.1.2 部屋登録例

例① 1フロアが1つの部屋



<手 順>

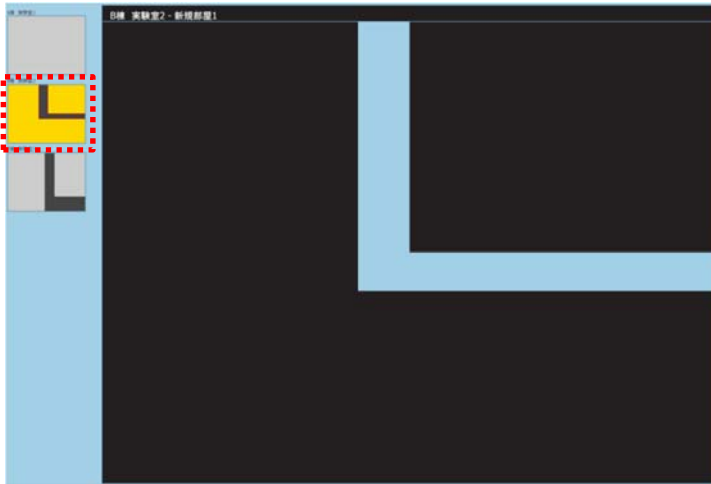
1) 部屋全体をドラッグします。

2) 部屋設定画面で部屋を選びます。

3) 部屋名を編集します。部屋名の入力文字数は最大 30 文字です。

4) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックしてください。

例② L字型の通路があるフロア



<手 順>

- 1) 左側の部屋を四角で区切り、ドラッグします。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名 ✖ B棟 実験室2

備考

部屋一覧

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択 参照... クリア

部屋登録

登録する部屋の形状ドラッグしてください

- 2) 部屋設定画面で部屋を選びます。

部屋設定

部屋名 新規部屋1 ▼

設定 キャンセル

- 3) 右下側の部屋を追加するようにドラッグします。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名 ✖ B棟 実験室2

備考

部屋一覧

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択 参照... クリア

部屋登録

登録する部屋の形状ドラッグしてください

- 4) 部屋設定画面で同じ部屋を選びます。

部屋設定

部屋名 新規部屋1 ▼

設定 キャンセル

- 5) 右上側の部屋をドラッグします。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名 B棟 実験室2

備考

部屋一覧

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択

参照... クリア

部屋登録

登録する部屋の形態ドラッグしてください

- 6) 部屋設定画面で同じ部屋を選びます。

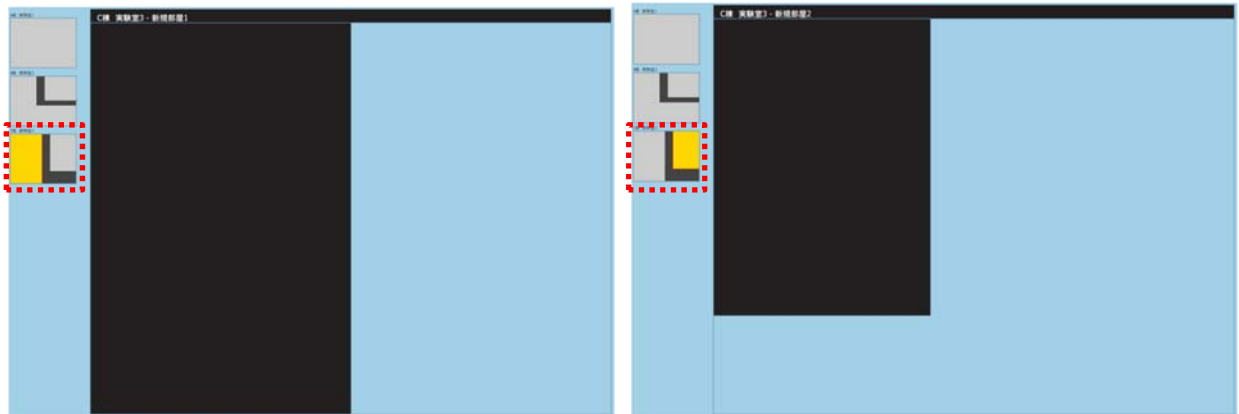
部屋設定

部屋名 新規部屋1 ▼

設定 キャンセル

- 7) 部屋名を編集します。部屋名の入力文字数は最大 30 文字です。
- 8) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックしてください

例③ 複数の部屋があるフロア(最大 9 部屋登録可能)



<手 順>

- 1) 左側の部屋をドラッグします。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名 C棟 実験室3

備考

部屋一覧

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択

参照... クリア

部屋登録

1

登録する部屋の形をドラッグしてください

- 2) 部屋設定画面で部屋を選びます。

部屋設定

部屋名 新規部屋1 ▼

設定 キャンセル

- 3) 右側の部屋をドラッグします。

保存 キャンセル

フロア編集

フロア名 C棟 実験室3

備考

部屋一覧

No.	選択	部屋名	背景画像
1	<input type="checkbox"/>	新規部屋1	未選択
2	<input type="checkbox"/>	新規部屋2	未選択

参照... クリア

部屋登録

1 2

登録する部屋の形をドラッグしてください

- 4) 部屋設定画面で違う部屋を選びます。

部屋設定

部屋名 新規部屋2 ▼

設定 キャンセル

- 5) 部屋名を編集します。部屋名の入力文字数は最大 30 文字です。
- 6) 入力が終わりましたら、保存をクリックしてください

5.2 装置設定

あらかじめ登録した部屋を、装置設定画面にて各装置に割り当てます。

装置設定画面

装置設定											
装置一覧											
追加 削除 並び替え											
	No.	選択	装置名	機種	システム名	IPアドレス	アドレス	接続	データ収録	データ保存フォルダ名	①
編集	1	<input type="checkbox"/>	ブラチナスJ(P310)	ブラチナス-J(N計装 P310) 湿度制御有り	Webアプリケーション P3XXX	172.20.0.213		モニタリング中	収録中	prjp310	floor1 New Room1
編集	2	<input type="checkbox"/>	PLJ	ブラチナス-J 湿度制御有り	Webマネージャー WMA-STD	172.20.193.59		モニタリング中	収録中	praj	floor1 New Room1
編集	3	<input type="checkbox"/>	小型環境SH-641	小型環境試験器 湿度有り SH-1	エスベックオンラインコンバーター PN5-CN	172.20.24.135		モニタリング中	収録中	1722024135	floor1 New Room1
編集	4	<input type="checkbox"/>	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験器 湿度有り SH-2	Webアプリケーション P2XXX	172.20.0.214		モニタリング中	収録中	p200	floor1 New Room1
編集	5	<input type="checkbox"/>	TSA-73	冷熱 TSA-3	Webアプリケーション P3XXX	172.20.24.138		モニタリング中	収録中	1722024138	floor1 New Room1
編集	6	<input type="checkbox"/>	TSA	冷熱 TSA-1	エスベックオンラインコンバーター PN5-CN	172.20.193.72		モニタリング中	収録中	tsa	floor1 New Room1
編集	7	<input type="checkbox"/>	TSA3	冷熱 TSA-3	Webアプリケーション P3XXX	172.20.193.159		モニタリング中	収録中	tsa3	floor1 New Room1

- ①各装置に割り当てた部屋名が表示されます。

装置編集画面

装置編集

装置名 必須 恒温恒湿器 PLJ-1

機種 ブラチナス-J 湿度制御有り ▼

システム名 Webマネージャー WMA-STD ▼

システムパスワード 半角英数字

IPアドレス 192.168.100.20

アドレス ▼

接続 ☒

データ収録 ☒

データ保存フォルダ名 20161205_STDJ

部屋情報 ▼

管理部署

管理者

備考 1

備考 2

備考 3

参照...

画像 クリア

未選択

保存 コピー キャンセル

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 画面下部の「装置設定」をクリックします。

装置設定

装置を設定します。

- 3) 装置設定画面が表示されますので、追加か編集をクリックしてください。
- 4) 装置編集画面が表示されますので、部屋情報をプルダウンより選択します。

装置編集

装置名 ^{必須}	恒温恒湿器 PLJ-1	
機種	ブラチナス-J 温度制御有り	▼
システム名	Webマネージャー WMA-STD	▼
システムパスワード		半角英数字
IPアドレス	192.168.100.20	
アドレス		▼
接続	<input checked="" type="checkbox"/>	
データ収録	<input checked="" type="checkbox"/>	
データ保存フォルダ名	20161205_STDJ	
部屋情報	<div> A棟 実験室1 新規部屋1 B棟 実験室2 新規部屋1 C棟 実験室3 新規部屋1 C棟 実験室3 新規部屋2 </div>	
管理部署		
管理者		
備考 1		
備考 2		
備考 3		
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div>	未選択

保存 コピー キャンセル

- 7) 入力が終わりましたら、保存をクリックしてください。

◆ 参 考 ◆

- ・部屋を登録した際、必ず装置設定にて部屋を選択する必要があります。
装置設定にて部屋を選択していない場合、集中モニター画面に表示することができません。

5.3 部屋選択

集中モニター画面の左端に表示されている各部屋をクリックすることで、モニターする部屋を切り替えることができます。

The screenshot displays the '集中モニター' (Concentration Monitor) interface. At the top, a status bar shows: 運転中 (Operating) : 4, アラーム中 (Alarm) : 1, 接続中 (Connected) : 30, 通信異常 (Communication Error) : 6, and 更新日時 (Update Time) : 2020-06-19 18:04:48. Below this is a navigation bar with icons for 集中モニター, 装置履歴, スケジュール, ユーザー設定, and システム設定. The main area is divided into a left sidebar and a main content area. The sidebar has buttons for 'フロア' (Floor) and 'リスト' (List), with a checked 'フロアリスト' (Floor List) option. It shows three floor selection boxes: 'floor1' (yellow), 'floor2' (grey), and 'floor3' (grey). The main content area is titled '表示設定' (Display Settings) and has tabs for '停止中' (Stopped), '運転中' (Operating), 'アラーム中' (Alarm), '通信異常' (Communication Error), and '未接続' (Disconnected). The 'アラーム中' (Alarm) tab is selected, showing 'floor1 - New Room1'. This area displays four device monitoring cards: 1. PLJ(P-300) 停止中 (Stopped), showing 温度 (Temperature) 31.4°C, 湿度 (Humidity) 95%, and 圧力 (Pressure) 0%. 2. TSA-73 計装電源OFF (Instrument Power OFF), showing 温度 (Temperature) 30.5°C, 湿度 (Humidity) 100%, and 圧力 (Pressure) OFF. 3. HAST 停止中 (Stopped), showing 温度 (Temperature) 28.3°C, 湿度 (Humidity) 100%, and 圧力 (Pressure) OFF. 4. AR-5 計装電源OFF (Instrument Power OFF), showing 温度 (Temperature) 30.5°C, 湿度 (Humidity) 100%, and 圧力 (Pressure) OFF. Each card also displays an IP address.

◆ 参 考 ◆

・登録したフロア名は 16 文字目までが表示され、17 文字目以降は「...」と表示されます。

6. ガントチャート機能

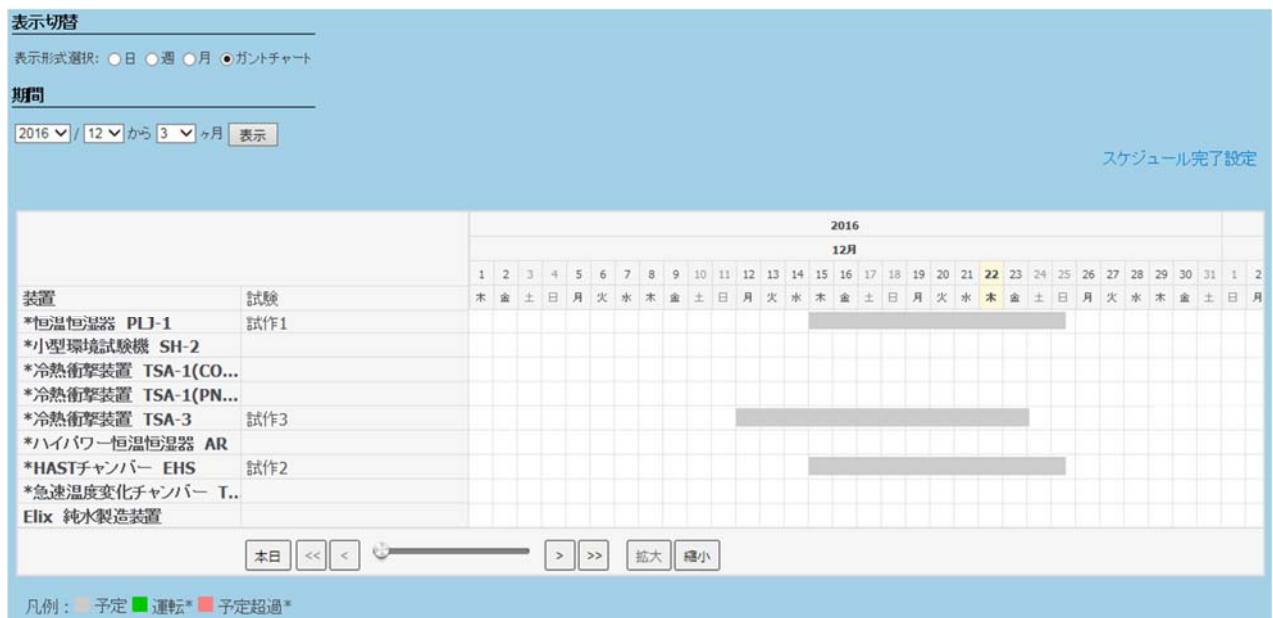
あらかじめスケジュール画面で設定した試験日程を、ガントチャート表示に切り替えることができます。
※カレンダーで設定した、任意休日、祝日等は表示されません。

6.1 スケジュール画面

表示切替で、選択することでスケジュールの表示方法が変わります。



選択された表示方法でスケジュール画面を表示します。



6.2 表示の切替

期間を指定して表示を切替することが可能です。

期間選択

表示したい開始年・月・期間を 1～24 ヶ月選択できます。



表示単位の切替と日付の移動

スケジュール下部のボタンをクリックすることで、期間の移動と、表示単位を切替します。



- ① 本日の日付に移動します。
- ② 日表示の場合 約 1 か月単位で移動します。
週表示の場合 約 3 か月単位で移動します。
月表示の場合 約 3 か月単位で移動します。
- ③ 日表示の場合 約 1 週間単位で移動します。
週表示の場合 約 1 か月単位で移動します。
月表示の場合 一番端に移動します。
- ④ 手動で移動します
- ⑤ 表示単位を、日表示、週表示、月表示に切り替えします。

ガントチャートの表示色

「7.1 画面の説明」を参照してください。

凡例： 予定 運転* 予定超過*

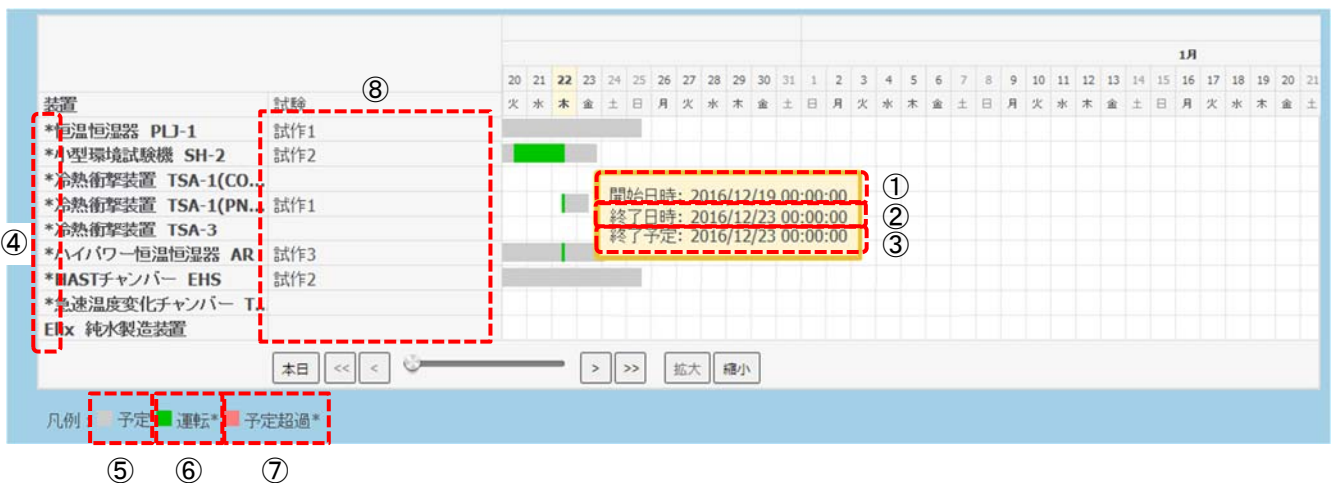
7. スケジュール機能 装置連動スケジューラー

装置運転と連動し、試験の進捗状態をガントチャート画面にて表示することができます。また、1 時間に 1 回登録しているスケジュールと装置運転状況を確認し、スケジュール終了予定が超過する場合に、担当者と次の利用予定者の電子メールアドレスに、終了予定超過メールを送信することができます。

※ 進捗確認が可能な装置は、エスペック製装置に限ります。

7.1 画面の説明

装置連動のスケジュールは、スケジュール画面の「ガントチャート」表示にて確認することができます。



スケジュールへマウスカーソルを動かすと、期間が表示されます。

- ①スケジュール登録時に入力した開始日時です。
- ②スケジュール登録時に入力した終了日時です。
- ③装置で運転を開始し、装置側の試験終了予定日時です。
- ④装置連動スケジューラーが表示できる装置には、装置名の頭にマークが表示され⑥、⑦の色が表示されます。
- ⑤スケジュールにて登録した予定期間です。ガントチャート画面では、灰色に表示されます。
- ⑥装置運転中の期間です。ガントチャート画面では、緑色に表示されます。
- ⑦登録したスケジュールより装置運転が超過した期間です。ガントチャート画面では、赤色に表示されます。
- ⑧表示した期間に予定より超過している試験があれば、試験名は赤色で表示されます。

7.2 予定編集画面

装置連動スケジューラーを使用する場合は、あらかじめ予定編集画面にて設定が必要です。
予定の入力は、ガントチャート表示ではなく、日・週・月表示から入力してください。
予定編集画面について説明します。

予定の追加	
装置	恒温恒湿器 PL-3KP
試験名 <small>必須</small>	
試験色	Light Coral
開始日時	日設定 2016/12/05 時間 0 時
終了日時 <small>必須</small>	
<input checked="" type="radio"/> 日時指定	日設定 時間 0 時
<input type="radio"/> サイクル指定	
・試験時間 (時間)	半角数字
・サイクル数	半角数字
試料名	
担当者名	administrator
試験条件	
① 終了案内	<input checked="" type="checkbox"/> する
案内時間	試験終了 30 分前
送信先	sample@espec.co.jp
件名	試験終了案内
メール本文	試験担当者様 まもなく試験が終了致します
② 終了予定超過通知	<input type="checkbox"/> する
備考1	
備考2	
備考3	

保存 キャンセル

- ① 終了案内メールの送信可否を設定します。設定が「する」の場合、メール本文にメッセージが追加されます。

差出人:	送信日時: 2016/02/
宛先:	
CC:	
件名:	試験終了案内
<p>試験担当者様 まもなく試験が終了致します</p> <p>試験が完了した場合は、以下の URL より 予定の完了設定を行ってください。</p> <p>http://XXX.XXX.XXX.XXX/html/schendset.html</p>	

- ② 装置連動スケジューラーの使用可否を設定します。
設定が「する」の場合、登録したスケジュールの終了予定が、終了予定時間を超過することがわかった際に、終了予定超過メールが配信されます。モニター画面にて終了予定の確認をすることができます。

チェックが無い場合、装置の終了予定がモニター画面にて表示されません。
エスペック製装置以外の対象外製品については、チェックを入れることができません。

設定方法による、モニター画面の表示方法、メール配信の説明について詳細は、「7.4 設定項目別のガント
チャート画面、メール配信例」を参照してください。

差出人:	送信日時: 2016/02/
宛先:	
CC:	
件名:	試験終了予定超過通知
<p>試験担当者様、次の試験担当者様 試作1の終了予定が 予定の終了日付を超過しました。</p> <p>予定の終了日付 : 2016-02-08 12:00:00 プログラム運転終了予定 : 2016-02-10 17:26:00</p> <p>速やかに予定の見直しを行ってください。</p> <p>試験が完了した場合は、以下の URL より 予定の完了設定を行ってください。</p> <p>http://XXX.XXX.XXX.XXX/html/schendset.html</p>	

7.3 スケジュール完了設定

登録したスケジュールに対して、試験が完了した場合に完了設定を行います。完了設定をすることにより、装置の使用権限を次のスケジュール予約者へ移行します。
ユーザーの権限によって表示される件数が異なります。

スケジュール完了設定

完了待ち予定一覧

完了							
No.	選択	装置	試験名	試料名	担当者名	開始日時	終了日時
1	<input type="checkbox"/>	恒温恒湿器 PLJ-2	試作2		administrator	2016-12-22 09:00:00	2016-12-22 14:00:00
2	<input type="checkbox"/>	恒温恒湿器 PLJ-1	試作1		user	2016-12-15 00:00:00	2016-12-22 17:00:00
3	<input type="checkbox"/>	冷熱衝撃装置 TSA-3	試作3		administrator	2016-12-19 00:00:00	2016-12-23 00:00:00
4	<input type="checkbox"/>	HASTチャンバー EHS	試作2		administrator	2016-12-22 00:00:00	2016-12-23 00:00:00

<手 順>

- 1) スケジュールタブよりスケジュール画面を開きます。
- 2) 表示切替の「ガントチャート」をクリックします。
- 3) 画面右上の「スケジュール完了設定」をクリックします

表示切替

表示形式選択: ☐ 日 ☐ 週 ☐ 月 ☒ ガントチャート

期間

2016 / 12 から 3 ヶ月 表示

スケジュール完了設定

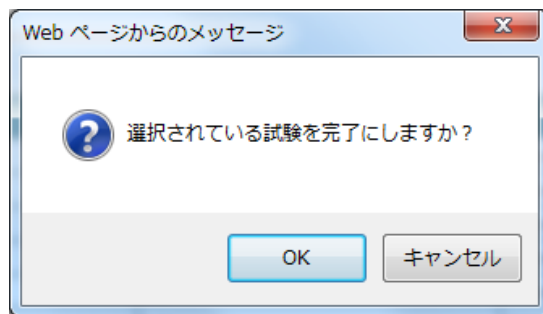
- 4) スケジュール完了設定画面にて、完了待ちの装置・試験名・試料名・担当者名が一覧表示されます。終了している試験の行は黄色で表示されます。完了したい行を選択列にチェックを入れ、**完了**をクリックします。

スケジュール完了設定

完了待ち予定一覧

完了							
No.	選択	装置	試験名	試料名	担当者名	開始日時	終了日時
1	<input type="checkbox"/>	恒温恒湿器 PLJ-2	試作2		administrator	2016-12-22 09:00:00	2016-12-22 14:00:00
2	<input type="checkbox"/>	恒温恒湿器 PLJ-1	試作1		user	2016-12-15 00:00:00	2016-12-22 17:00:00
3	<input type="checkbox"/>	冷熱衝撃装置 TSA-3	試作3		administrator	2016-12-19 00:00:00	2016-12-23 00:00:00
4	<input type="checkbox"/>	HASTチャンバー EHS	試作2		administrator	2016-12-22 00:00:00	2016-12-23 00:00:00

5) 確認メッセージが表示されますので、**OK**をクリックします。



7.4 設定項目別のガントチャート画面、メール配信例

スケジュール登録時の設定項目により、ガントチャート画面、メール配信の例を紹介します。
目的にあわせて設定項目を変更してください。

設定項目

設定パターン	終了案内	終了予定超過通知
1	チェック有	チェック有
2	チェック有	チェック無
3	チェック無	チェック無
4	チェック無	チェック有

終了案内	<input checked="" type="checkbox"/> する
終了予定超過通知	<input checked="" type="checkbox"/> する

■スケジュールを登録し未運転

①設定パターン 1～4 共通

ガントチャート画面では、登録した予定が灰色で表示されます。

装置の運転を開始していないため、ポップアップの「終了予定」は表示されません。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			
		<div>開始日時: 2016/02/08 00:00:00</div> <div>終了日時: 2016/02/13 00:00:00</div> <div>終了予定:</div>																	

■スケジュール期間内に運転開始・終了

①設定パターン 1

(終了案内:チェック有、終了予定超過通知:チェック有)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。

ポップアップの「終了予定」は、装置の運転状態を確認し表示され、スケジュールの予定期間内で運転していることを確認できます。

スケジュールの予定期間内で進捗しているため、「終了予定超過通知メール」は送信されません。

「終了案内メール」は、スケジュール登録時に設定した時間に送信されます。

装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			

開始日時: 2016/02/05 09:00:00
終了日時: 2016/02/12 09:00:00
終了予定: 2016/02/12 03:43:00

補足) 温湿度タイプ 定値運転の場合

定値運転では、試験時間の入力ができないため、ガントチャート画面でも試験終了予定時間を判断することができません。そのため、あらかじめ設定したスケジュールの終了日時が表示されます。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			

開始日時: 2016/02/05 09:00:00
終了日時: 2016/02/12 09:00:00
終了予定: 2016/02/12 09:00:00

②設定パターン 2

(終了案内:チェック有、終了予定超過通知:チェック無)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。
ポップアップの「終了予定」は表示されません。

設定をしていないため、「終了予定超過通知メール」は送信されません。
「終了案内メール」は、スケジュール登録時に設定した時間に送信されます。
装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			

開始日時: 2016/02/05 09:00:00
終了日時: 2016/02/12 09:00:00
終了予定:

③設定パターン 3

(終了案内:チェック無、終了予定超過通知:チェック無)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。
ポップアップの「終了予定」は表示されません。

設定をしていないため、「終了予定超過通知メール」、「終了案内メール」は送信されません。
装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			

開始日時: 2016/02/05 09:00:00
終了日時: 2016/02/12 09:00:00
終了予定:

④設定パターン 4

(終了案内:チェック無、終了予定超過通知:チェック有)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。

ポップアップの「終了予定」は、装置の運転状態を確認し表示され、スケジュールの予定期間内で運転していることを確認できます。

スケジュールの予定期間内で進捗しているため、「終了予定超過通知メール」は送信されません。

設定をしていないため、「終了案内メール」は送信されません。

装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-B	試作3																		
*冷熱衝撃装置 TSA-3																			
*小型環境試験機 SH-2																			

開始日時: 2016/02/05 09:00:00
 終了日時: 2016/02/12 09:00:00
 終了予定: 2016/02/12 03:43:00

■スケジュールが遅延し、終了予定が超過すると想定された場合

①設定パターン 1

(終了案内:チェック有、終了予定超過通知:チェック有)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。

装置のプログラム運転時間を確認し、登録したスケジュールの終了日時より超過すると判断した場合、ガントチャート画面では、超過した期間、試験名が赤色で表示されます。

「終了予定超過通知メール」が送信されます。

また、同じ装置を予約し、遅延期間が影響する担当者へ、「終了予定超過通知メール」が送信されます。

スケジュールの見直しを行うようにしてください。

「終了案内メール」は、スケジュール登録時に設定した時間に送信されます。

装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*小型環境試験機 SH-2	試作1																		
	試作2																		
*恒温恒湿器 PLJ-A																			
*ハイパワー恒温恒湿器 AR																			

開始日時: 2016/02/06 17:00:00
終了日時: 2016/02/08 12:00:00
終了予定: 2016/02/10 17:26:00

補足)遅延期間が影響する担当者の例

下記の場合、「試作 1」が遅延すると判断した時点で、「試作 2」の予約者にもメールが送信されます。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*小型環境試験機 SH-2	試作1 担当者A																		
	試作2 担当者B																		
*恒温恒湿器 PLJ-A																			
*ハイパワー恒温恒湿器 AR																			

②設定パターン 2

(終了案内:チェック有、終了予定超過通知:チェック無)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されますが、予定超過期間は赤色に表示されません。
ポップアップの「終了予定」は表示されません。

設定をしていないため、「終了予定超過通知メール」は送信されません。
「終了案内メール」は、スケジュール登録時に設定した時間に送信されます。

装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-A	試作2																		
*ハイパワー恒温恒湿器 AR																			
*冷熱衝撃装置 TSA-2																			
*急速温度変化チャンバー TCC																			

開始日時: 2016/02/08 17:00:00
終了日時: 2016/02/11 00:00:00
終了予定:

③設定パターン 3

(終了案内:チェック無、終了予定超過通知:チェック無)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されますが、予定超過期間は赤色に表示されません。
ポップアップの「終了予定」は表示されません。

設定をしていないため、「終了予定超過通知メール」、「終了案内メール」は送信されません。

装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*恒温恒湿器 PLJ-A	試作2																		
*ハイパワー恒温恒湿器 AR																			
*冷熱衝撃装置 TSA-2																			
*急速温度変化チャンバー TCC																			

開始日時: 2016/02/08 17:00:00
終了日時: 2016/02/11 00:00:00
終了予定:

④設定パターン 4

(終了案内:チェック無、終了予定超過通知:チェック有)

ガントチャート画面では、装置運転期間が緑色で表示されます。

装置のプログラム運転時間を確認し、登録したスケジュールの終了日時より超過すると判断した場合、ガントチャート画面では、超過した期間、試験名が赤色で表示されます。

「終了予定超過通知メール」が送信されます。

また、同じ装置を予約し、遅延期間が影響する担当者へ、「終了予定超過通知メール」が送信されます。
スケジュールの見直しを行うようにしてください。

設定をしていないため、「終了案内メール」は送信されません。

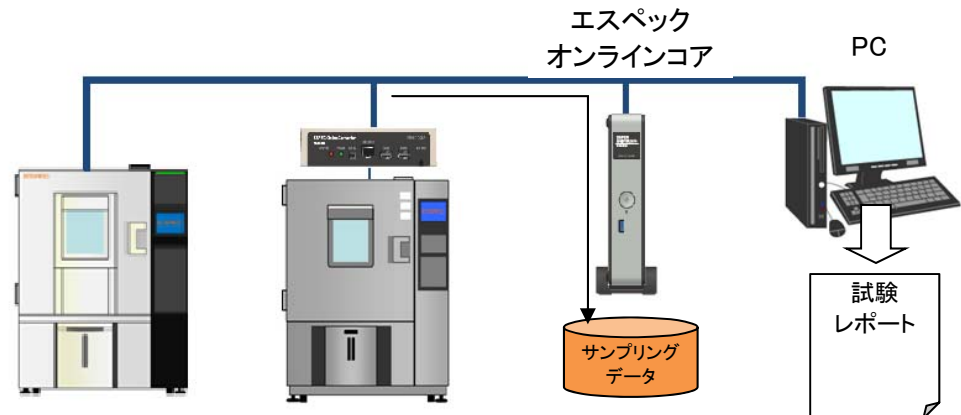
装置の運転が終了した場合、「スケジュール完了設定」を行ってください。

		2月																	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
装置	試験																		
*小型環境試験機 SH-2	試作1																		
	試作2																		
*恒温恒湿器 PJ-A																			
*ハイパワー恒温恒湿器 AR																			

開始日時: 2016/02/06 17:00:00
終了日時: 2016/02/08 12:00:00
終了予定: 2016/02/10 17:26:00

8. サンプルングデータ出力機能

エスペックオンラインコアが自動収集した、もしくは装置から転送されたサンプルングデータをグラフ表示したり、CSV 形式でファイル出力することができます。グラフにてデータ解析やコメント入力を行い、試験レポートとして印刷することができます。



8.1 装置設定

＜対象装置＞

- ・N 計装 Web アプリケーションを搭載した装置
- ・エスペックオンラインコンバーター、Web サポート(PN5-L4)を接続した装置
- ・Web マネージャー、RS-485 LAN コンバーター、Web コントローラーを接続した装置

装置からサンプルングデータを転送する場合は、装置側にて設定を行ってください。

◆ 参 考 ◆

- ・装置側のサンプルングデータ転送設定では以下の設定を行ってください。
装置側のサンプルングデータの転送方法は、各装置や機器の取扱説明書を参照してください。

FTP サーバーアドレス: (エスペックオンラインコアの IP アドレス)

FTP ポート番号: 21

FTP ユーザー名: ftpuser

FTP パスワード: espec

保存フォルダ名: (装置毎に異なる名称を指定してください)

- ・エスペックオンラインコア側でのデータ収録設定は OFF にしてください。

装置設定画面

装置設定											
装置一覧											
追加 削除 並び替え											
	No.	選択	装置名	機種	システム名	IPアドレス	アドレス	接続	データ収録	データ保存フォルダ名	手動収録
編集	1	<input type="checkbox"/>	プラチナスJ(P310)	プラチナス-J(N計装 P310) 温度制御有り	Webアプリケーション P3XXX	172.20.0.213		モニタリング中	収録中	prjp310	実行
編集	2	<input type="checkbox"/>	PLJ(P-300)	プラチナス-J 温度制御有り	Webマネージャー WMA-STD	172.20.193.59		モニタリング中	収録中	praj	実行
編集	3	<input type="checkbox"/>	小型環境SH-641	小型環境試験機 温度有り SH-1	エスベックオンラインコンバーター PN5-CN	172.20.24.135		モニタリング中	収録中	1722024135	実行
編集	4	<input type="checkbox"/>	小型環境試験機(P-200)	小型環境試験機 温度有り SH-2	Webアプリケーション P2XXX	172.20.193.80		モニタリング中	収録中	p200	実行
編集	5	<input type="checkbox"/>	TSA-73	冷熱 TSA-3	Webアプリケーション P3XXX	172.20.24.138		モニタリング中	収録中	1722024138	実行
編集	6	<input type="checkbox"/>	TSA	冷熱 TSA-1	エスベックオンラインコンバーター PN5-CN	172.20.193.72		モニタリング中	収録中	tsa	実行

各装置のデータ収録設定とデータ保存フォルダ名が表示されます。
当日分の試験データを手動で収集することができます。

装置編集画面

装置編集	
装置名 <small>必須</small>	恒温恒湿器 PLJ-1
機種	プラチナス-J 温度制御有り
システム名	Webマネージャー WMA-STD
システムパスワード	<small>半角英数字</small>
IPアドレス	192.168.100.20
アドレス	
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
データ収録	<input type="checkbox"/>
データ保存フォルダ名	
部屋情報	B棟 実験室2 新規部屋1
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	<div>参照...</div> <div>クリア</div> <div>未選択</div>
<div>保存</div> <div>コピー</div> <div>キャンセル</div>	

各装置のデータ収録設定とデータ保存フォルダ名称を編集できます。

<手順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 画面下部の「装置設定」をクリックします。

装置設定

装置を設定します。

- 3) 装置設定画面が表示されますので、「追加」か「編集」をクリックしてください。
- 4) 装置編集画面が表示されますので、「データ収録」の ON/OFF と「データ保存フォルダ名」を入力します。

装置編集	
装置名 ^{必須}	恒温恒湿器 PLJ-1 ×
機種	プラチナス-J 湿度制御有り ▼
システム名	Webマネージャー WMA-STD ▼
システムパスワード	半角英数字
IPアドレス	192.168.100.20
アドレス	▼
接続	<input checked="" type="checkbox"/>
データ収録	<input type="checkbox"/>
データ保存フォルダ名	
部屋情報	B棟 実験室2 新規部屋1 ▼
管理部署	
管理者	
備考 1	
備考 2	
備考 3	
画像	参照...
	クリア
未選択	
<div>保存 コピー キャンセル</div>	

「データ収録」が ON の場合、定期的に装置からサンプリングデータを収集します。
 最大で1ヵ月前まで遡って未収集のデータを収集しますが、装置側で既に消去されたデータを収集することはできません。データを収集する周期はシステム設定画面の「データ収録設定」で変更することができます。(10 分/30 分/60 分/3 時間/6 時間/8 時間/12 時間/24 時間(デフォルト))
 データ収集の周期は毎日 0:10 を起点とします。

データ収録設定	
サンプリングデータ収録設定	
収録周期	24 時間 ▼
保存	

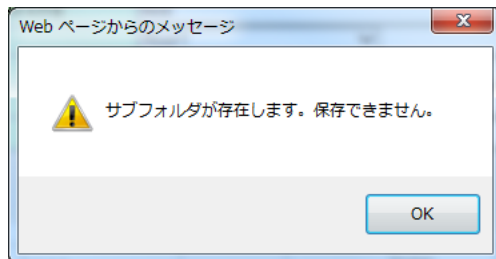
エスペックオンラインコアと装置の時計を合わせる必要があります。装置の時計が 10 分以上遅れている場合は、収集したサンプリングデータに抜けが発生します。

◆ 参 考 ◆

保存フォルダ名を入力する際の注意

- ・ 装置毎に異なる名称を指定してください。
- ・ フォルダ名として、¥ / : * ? & " ' ` < > | . % # の半角記号は使用できません。
- ・ フォルダ名は UTF-8 の文字コードで作成されるため Windows のエクスプローラーなど Shift-JIS で表示される場合は、全角文字を使用すると文字化けすることがあります。半角英数字のみを使用することをお勧めします。

- 5) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックしてください。
入力した「データ保存フォルダ名」のフォルダが無ければ作成します。
指定したフォルダにサブフォルダが存在する場合は、以下のエラーメッセージが表示されます。
サブフォルダが存在しないフォルダに指定し直してください。

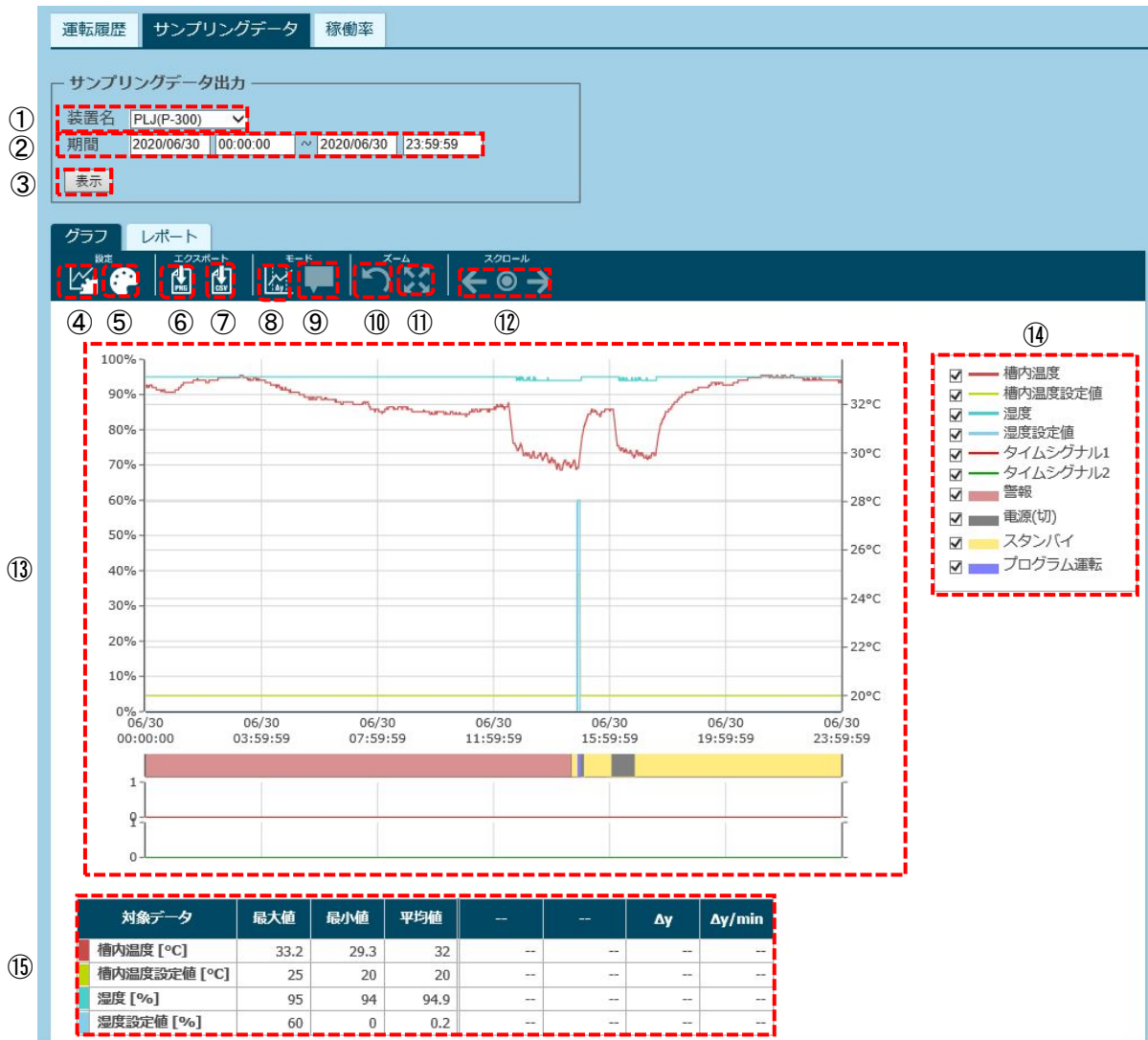


8.2 サンプルングデータ出力

装置から転送されたサンプルングデータをグラフ表示や CSV 形式でファイル出力します。

8.2.1 画面の説明

＜グラフ画面＞



① 装置名

装置を選択します。

② 期間

出力データの表示期間を設定し、グラフを表示します。

③ 表示

①②で指定した条件に基づいてサンプルングデータをグラフ表示します。

④ グラフ設定

グラフ要素のレイアウトなどを設定できます。

⑤ 凡例編集

データ項目の名称や色の編集ができます。

⑥ PNG エクスポート

グラフ表示されたサンプルングデータを PNG 画像で保存します。

⑦ CSV エクスポート

グラフ表示されたサンプルングデータを CSV ファイルで保存します。

⑧ 解析

グラフの操作モードを解析モードに切り替えます。

⑨ コメント

グラフの操作モードをコメント追加モードに切り替えます。

⑩ 戻る

グラフの表示範囲をひとつ前のズーム範囲に戻ります。

⑪ リセット

グラフのズームをリセットします。

⑫ スクロール

縦軸の表示範囲を維持したまま、横軸(時間軸)の範囲を移動します。

⑬ グラフ表示

サンプルングデータをグラフ表示します。

⑭ 凡例

グラフの凡例を表示します。

⑮ 解析データ

対象データの最大値/最小値/平均値/選択した期間の数値を表示します

<レポート画面>



- | | |
|----------|-----------------|
| ① レポート設定 | 表示する項目を設定します。 |
| ② プレビュー | 印刷プレビューを表示します。 |
| ③ 印刷 | 表示している内容を印刷します。 |
| ④ コメント | コメントを入力できます。 |

8.2.2 データをグラフ表示

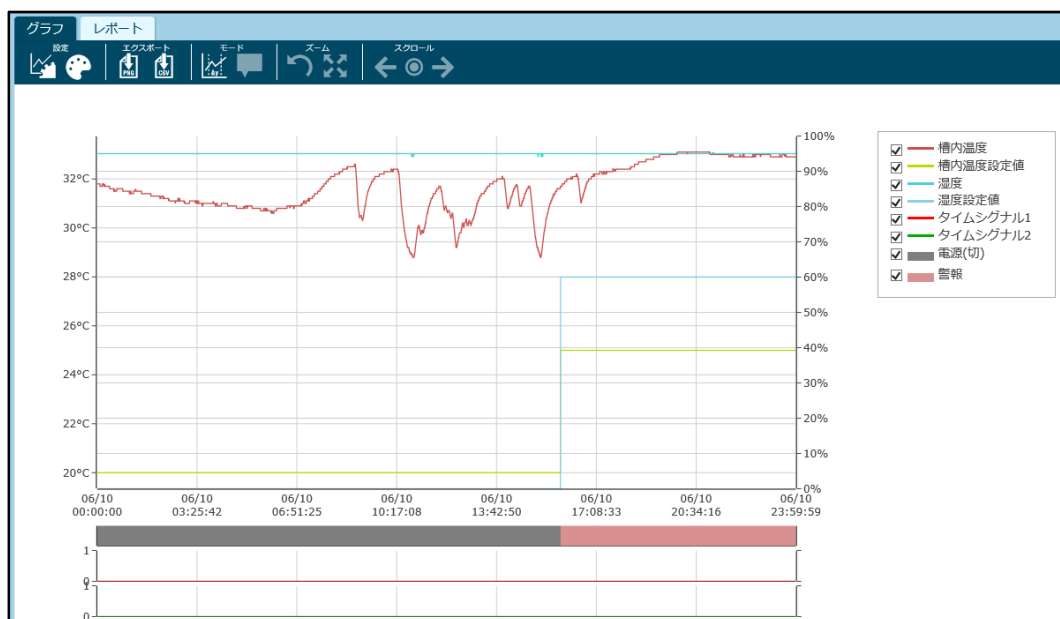
指定した装置のサンプリングデータをグラフで表示します。

<手 順>

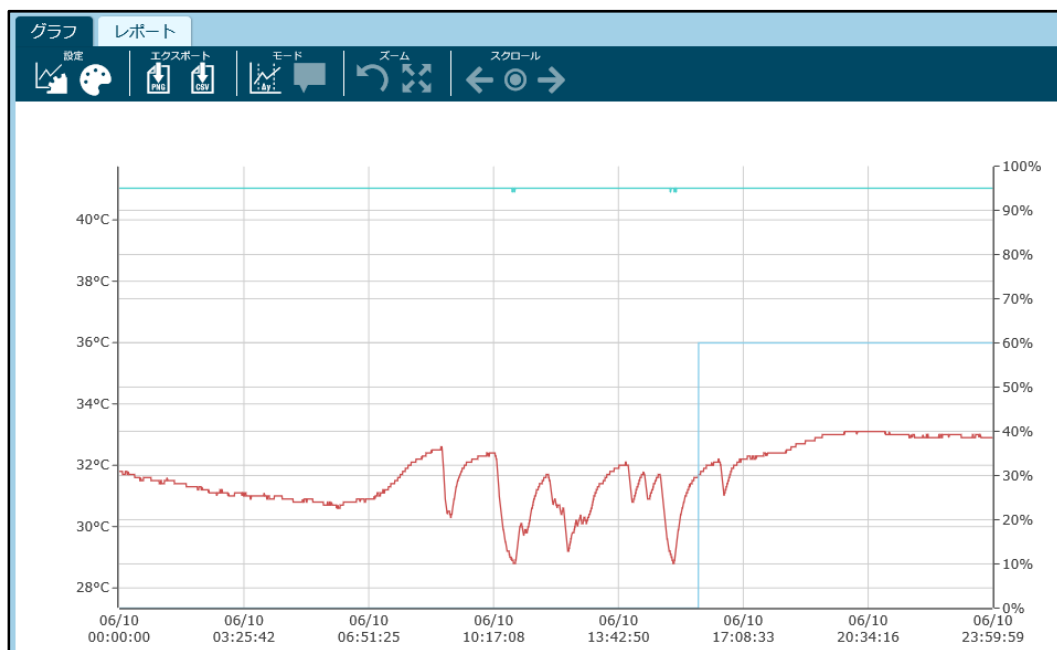
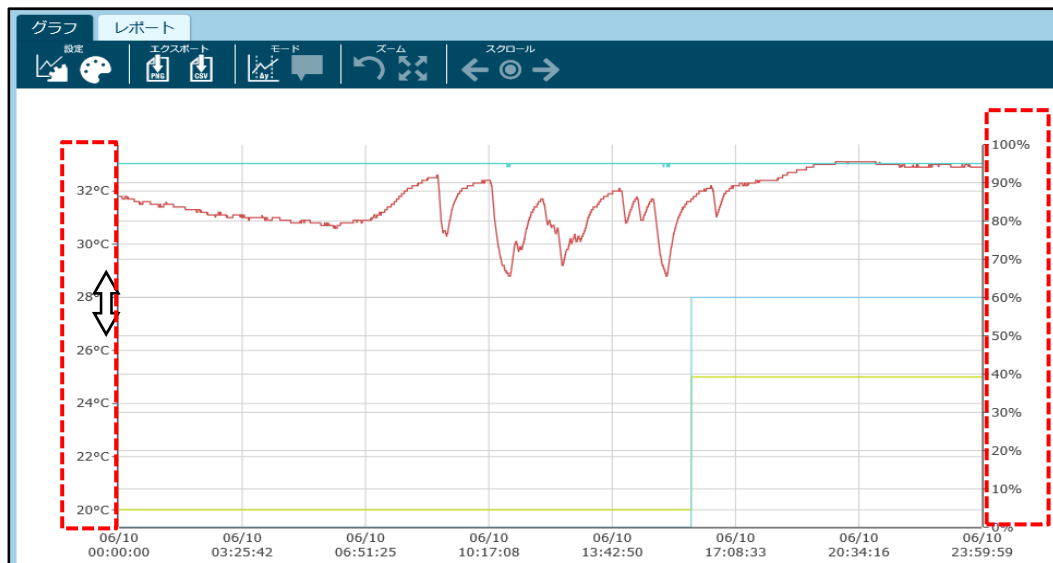
- 1) サンプリングデータを表示する装置をプルダウンから選択します。

- 2) 表示するサンプリングデータの期間を入力します。

- 3) **表示** をクリックするとグラフが表示されます。



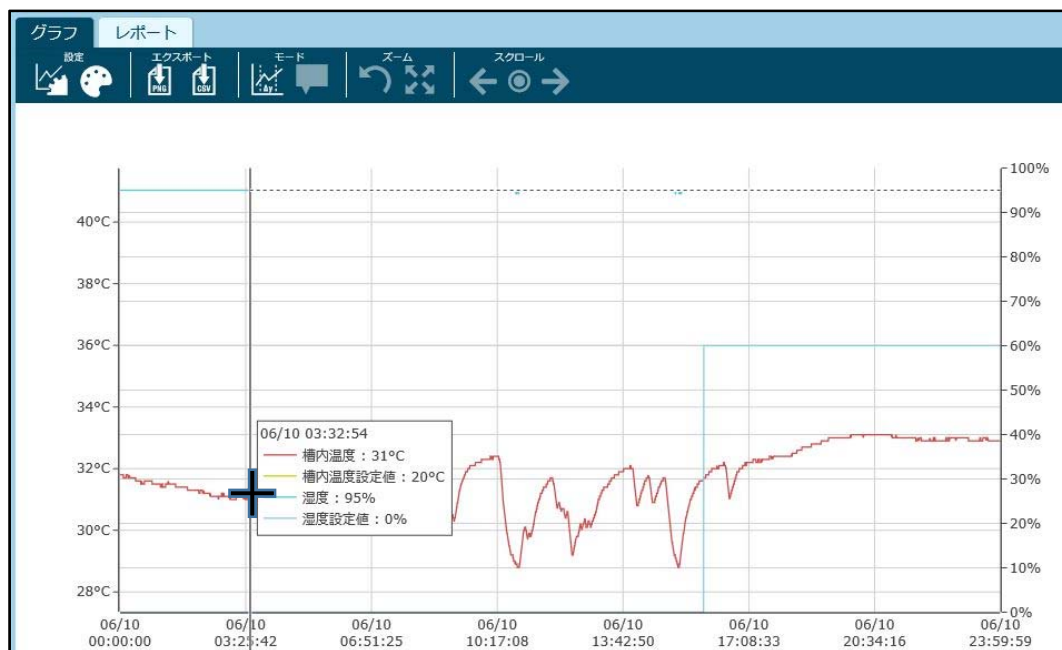
4) 表示しているグラフの縦軸(温度軸、湿度軸)をドラッグすると表示範囲を調節できます。



◆ 参考 ◆

- ・期間が長い場合は、グラフ表示されるまで時間がかかります。
- ・グラフ表示できる期間は最大 100 日間です。

5) カーソルをグラフ上に置くと、測定時間と測定値/設定値を表示します。



8.2.3 グラフの設定編集

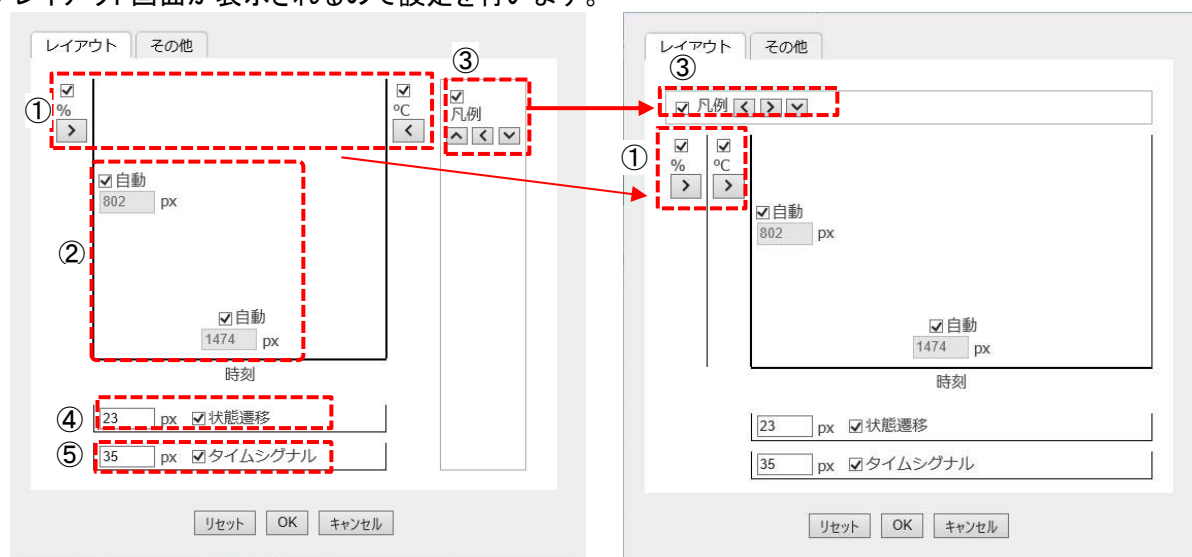
表示するグラフのレイアウトを設定することができます。






<手順>

1) 「グラフ設定」のアイコンをクリックします。

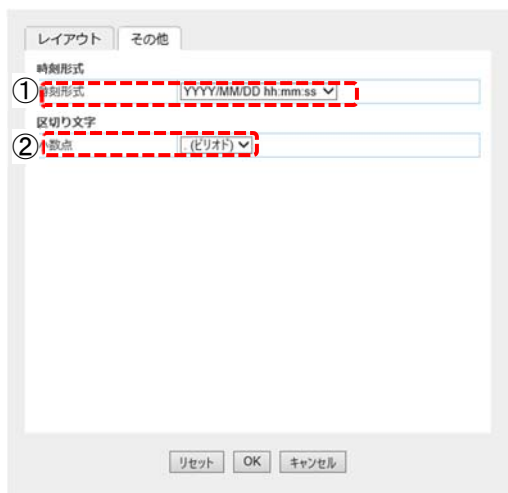


2) レイアウト画面が表示されるので設定を行います。



- ① 縦軸の ☒表示/☐非表示 を選択できます。縦軸の表示位置(左軸/右軸)を   で移動します。
- ② 縦軸、横軸の長さ(ピクセル単位)を指定できます。☒自動を ON にするとウィンドウサイズに合わせた大きさでグラフを表示します。
- ③ 凡例の☒表示/☐非表示 を選択できます。また、凡例の表示位置を    で移動します。
- ④ 状態遷移データの☒表示/☐非表示を選択できます。また、縦軸の長さ(ピクセル単位)を指定します。
- ⑤ タイムシグナルデータの☒表示/☐非表示を選択できます。縦軸の長さ(ピクセル単位)を指定します。

3) 「その他」の設定を行います。



- ① 時刻形式 時刻の表示形式を選択します。
- ② 小数点 小数点の表示形式を選択します。

4) 入力後、**OK** をクリックします。

8.2.4 凡例編集

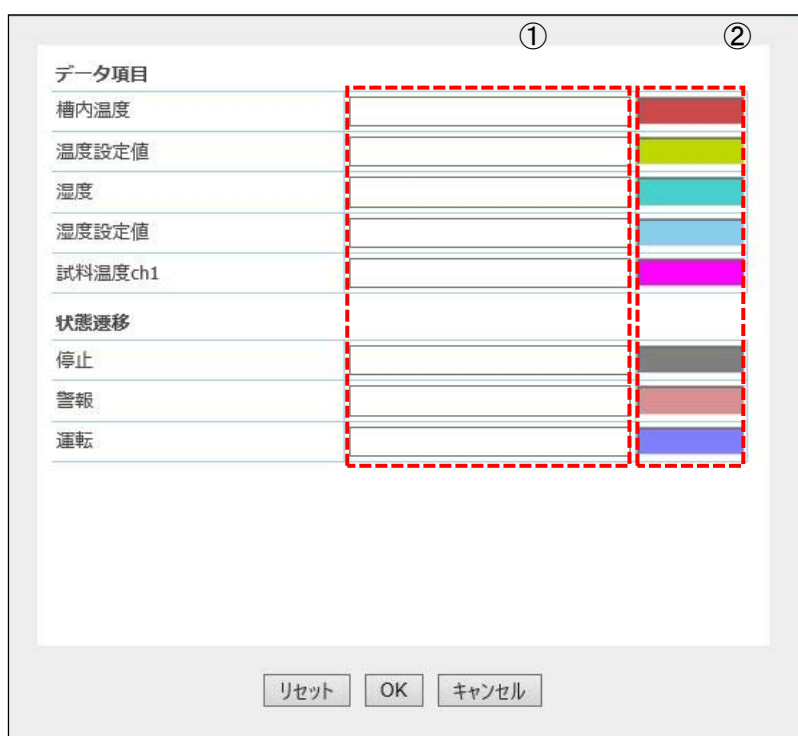
凡例の内容を編集することができます。

<手 順>

- 1) グラフの上の「凡例編集」のアイコンをクリックします。



- 2) 凡例編集画面が表示されます。
凡例の項目と表示する色の設定を行います。



- 3) ①凡例の項目名を入力します。
空白の場合は左のデータ項目名が表示されます。
- 4) ②項目の色を設定します。
設定した色は線色に反映されます(状態遷移の場合は塗りつぶし色)。
色部分ををクリックするとパレットを表示します。
色を選択し **OK** をクリックします。



5) 項目、色指定後、**OK**をクリックします。

◆ 参 考 ◆

・リセットをクリックすると、設定内容が初期値に戻ります。

6) グラフ画面の凡例表示で項目の表示/非表示の選択を行います。



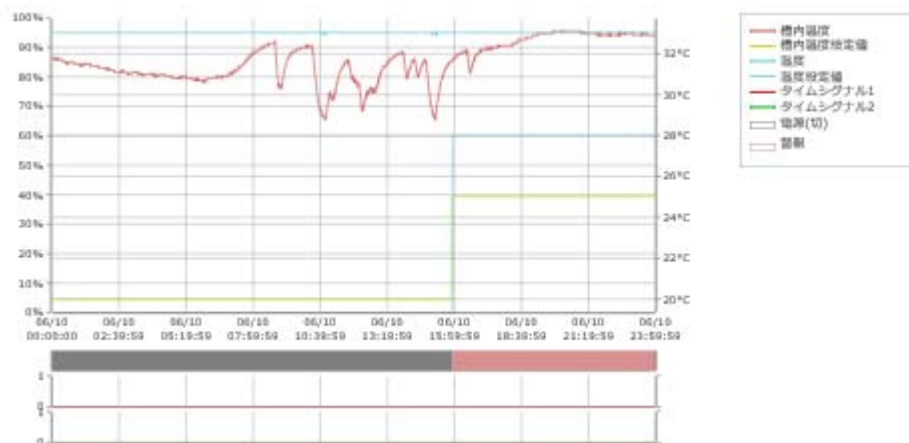
☒表示/☐非表示の選択を項目ごとにします。

8.3 エクスポート

サンプリングデータやグラフの画像を出力できます。

8.3.1 グラフを PNG 画像出力

表示したグラフを、PNG 画像としてダウンロードします。



<手 順>

- 1) グラフの上の「PNG 画像としてダウンロード」のアイコンをクリックします。



- 2) 以下のメッセージが表示されますので「保存(S)」をクリックしてください。



◆ 参 考 ◆

・グラフ画像をダウンロードする場合、Web ブラウザーの拡大レベルは 100% でご利用ください。

8.3.2 サンプルングデータを CSV 出力

グラフ表示した期間のサンプルングデータを、操作している PC へ CSV 出力します。

<手 順>

- 1) グラフの上の「CSV ファイル出力」のアイコンをクリックします。



- 2) 出力に関する設定を選択してください。

区切り文字


- ・小数点 . (ピリオド) / , (コンマ)
- ・CSV 区切り文字 , (コンマ) / ; (セミコロン) / . (ピリオド)

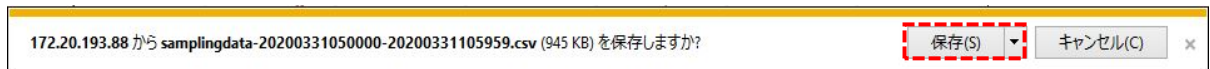
データ

- ・出力周期 指定なし(元データと同じ) / 1 秒 / 5 秒 / 10 秒 / 30 秒 / 1 分 / 5 分

小数点以下の桁数

データ項目ごとに、0 桁(0)～出力対象のサンプルングデータの小数点以下桁数(1 桁(0.0)／2 桁(0.00)など)の間で選択できます。

- 3)  CSV 出力 をクリックすると以下のメッセージが表示されますので **保存(S)** をクリックします。



※期間が長い場合は、CSV 出力されるまで時間がかかります。
(ファイル名) samplingdata-(開始年月日時刻)-(終了年月日時刻).csv

◆ 参 考 ◆

- ・出力周期について
出力対象のサンプリングデータより細かいサンプリング周期でデータを出力することはできません。

サンプリングデータの内容

サンプリングデータは、接続している装置によって項目が異なります。
接続された装置に合わせてご確認ください。

◆ 参 考 ◆

・N 計装 Web アプリケーション搭載装置の場合は、計装のサンプリング設定で収録対象にした項目のみになります。

■ サンプリングデータ項目

(エスペックオンラインコンバーター、Web マネージャー、RS-485 LAN コンバーター、Web サポート(PN5-L4)、Web コントローラー：温湿度タイプ)

- ・ Time : 年月日時刻
- ・ Temperature : 温度モニター値
- ・ Temperature Target : 温度設定値
(試料温度制御時は 0.0 が収録されます)
- ・ PTC : 試料温度モニター値
- ・ PTC Target : 試料温度設定値
(空気温度制御時は 0.0 が収録されます)
- ・ Humidity : 湿度モニター値
- ・ Humidity Target : 湿度設定値
- ・ TimeSignal1～12 : タイムシグナル設定値
(搭載されているタイムシグナルのみ収録されます)
- ・ Alarms : 警報発生数
- ・ Mode : 運転状態
RUN(プログラム運転中)
CONSTANT(定値運転中)
OFF(装置計装 OFF)
STANDBY(計装 ON アイドリング状態)
ALARM(警報発生中)

(エスペックオンラインコンバーター、Web マネージャー、RS-485 LAN コンバーター、Web サポート(PN5-L4)、：冷熱タイプ)

- ・ Time : 年月日時刻
- ・ Temperature(Test area) : テストエリア温度
- ・ Temperature(High area) : 高温槽温度
- ・ Temperature(Low area) : 低温槽温度
- ・ STT ch1 : 試料温度 ch1 (搭載装置のみ収録されます)
- ・ STT ch2 : 試料温度 ch2 (搭載装置のみ収録されます)
- ・ Alarms : 警報発生数
- ・ Mode : 運転状態
OFF(受電中)
ALARM(警報発生中)
STANDBY(アイドリング中)
SETUP(準備中)
READY(準備完了)
TEST(試験中)
HALT(中断)
END(試験終了)
WAIT(待機中)
DEFROST(除霜運転中)
DRY(乾燥運転中)

(エスペックオンラインコンバーター:HAST タイプ)

- Time : 年月日時刻
- Temperature : 温度モニター値
- Temperature Target : 温度設定値
(試料温度制御時は 0.0 が収録されます)
- Humidity : 湿度モニター値
- Humidity Target : 湿度設定値
- TimeSignal1～2 : タイムシグナル設定値
(搭載されているタイムシグナルのみ収録されます)
- Alarms : 警報発生数
- Pressure : 槽内圧力
- Mode : 運転状態
RUN(プログラム運転中)
CONSTANT(定値運転中)
OFF(装置計装 OFF)
STANDBY(計装 ON アイドリング状態)
ALARM(警報発生中)

(エスペックオンラインコンバーター:TCC)

- Time : 年月日時刻
- Temperature : 温度モニター値
- Temperature Target : 温度設定値
(試料温度制御時は 0 が収録されます)
- PTC : 試料温度モニター値
- PTC Target : 試料温度設定値
(空気温度制御時は 0 が収録されます)
- TimeSignal1～2 : タイムシグナル設定値
- Alarms : 警報発生数
- Mode : 運転状態
WARMUP(ウォームアップ中)
OFF(装置計装 OFF)
STANDBY(計装 ON アイドリング状態)
CONSTANT(定値運転中)
RUN(プログラム運転中)
CYCLE(サイクル運転中)
PAUSE(中断中)
R END HOLD(プログラム終了(保持))
C END HOLD(サイクル終了(保持))
C END CNST(サイクル終了(定値))
ALARM(警報発生中)

(N 計装 Web アプリケーション: 温湿度タイプ)

- Time : 年月日時刻
 - Temperature : 温度モニター値
 - Temperature Target : 温度設定値
 - Humidity : 湿度モニター値
 - Humidity Target : 湿度設定値
 - PTC ch1 : 試料温度 ch1 モニター値
 - Alarms : 警報発生数
 - Mode : 運転状態
- RUN(運転中)
OFF(停止中)
ALARM(警報発生中)

(N 計装 Web アプリケーション: 冷熱タイプ)

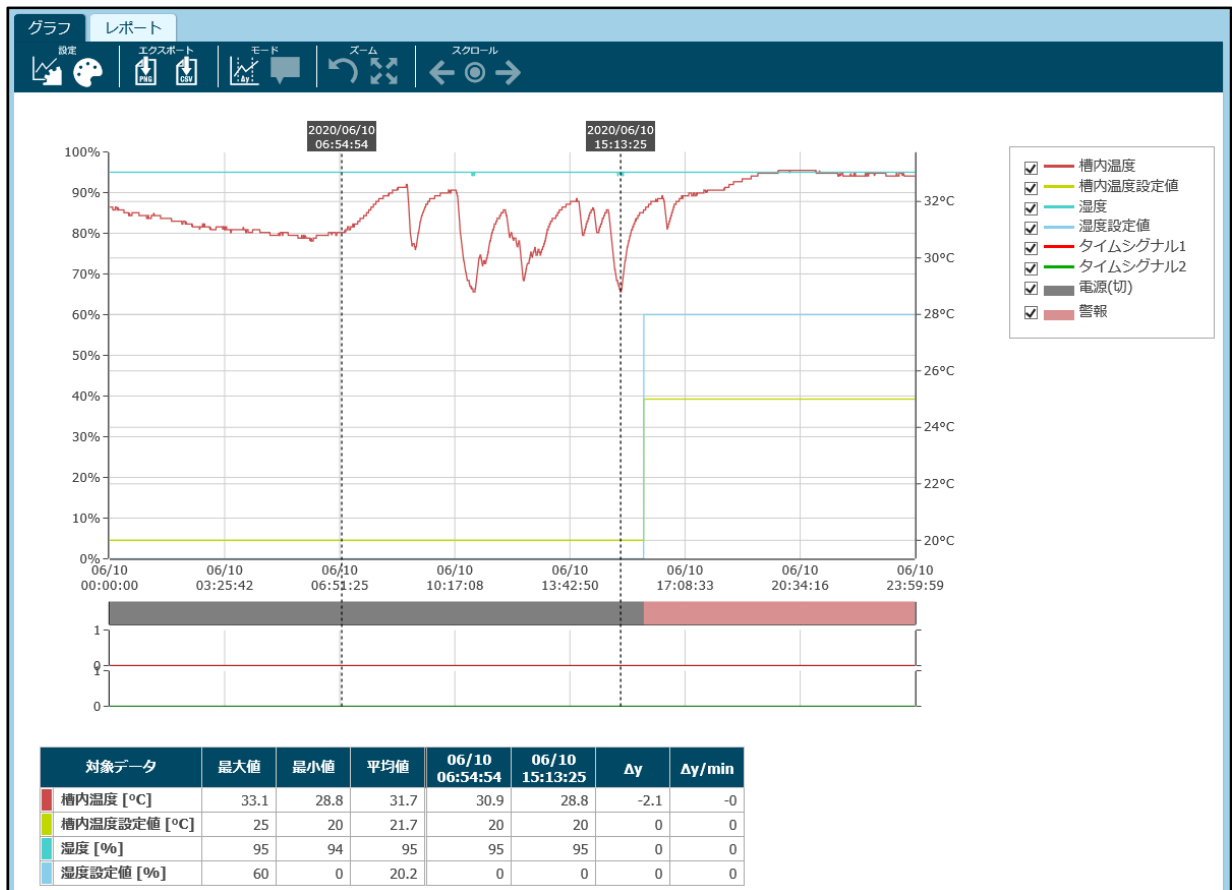
- Time : 年月日時刻
 - Temperature(Test area) : テストエリア温度
 - Temperature(Test area)Target : テストエリア温度設定
 - STT ch1 : 試料温度 ch1 (搭載装置のみ収録されます)
 - STT ch2 : 試料温度 ch2 (搭載装置のみ収録されます)
 - STT ch3 : 試料温度 ch3 (搭載装置のみ収録されます)
 - STT ch4 : 試料温度 ch4 (搭載装置のみ収録されます)
 - STT ch5 : 試料温度 ch5 (搭載装置のみ収録されます)
 - Alarms : 警報発生数
 - Mode : 運転状態
- RUN(運転中)
OFF(受電中)
ALARM(警報発生中)

8.4 データを解析する

グラフ表示されているデータを解析します。

グラフ表示時に、各項目の最大値、最小値、平均値がグラフの下に表形式で表示されます。

グラフのポイントを2点選択すると、選択したポイントの値、差分、変化率が表示されます。



<手順>

- 1) グラフの上の「解析」アイコンをクリックします。



- 2) グラフ上の任意の点をクリックします。
 クリックした時刻位置に縦線と時刻ラベルが表示されます。また、グラフ下部の表にその時刻における各データ項目の値が表示されます。
 2点を指定すると、データ項目の値に加え、2点の期間における各データ項目の値の差分およびその変化率を表示します。

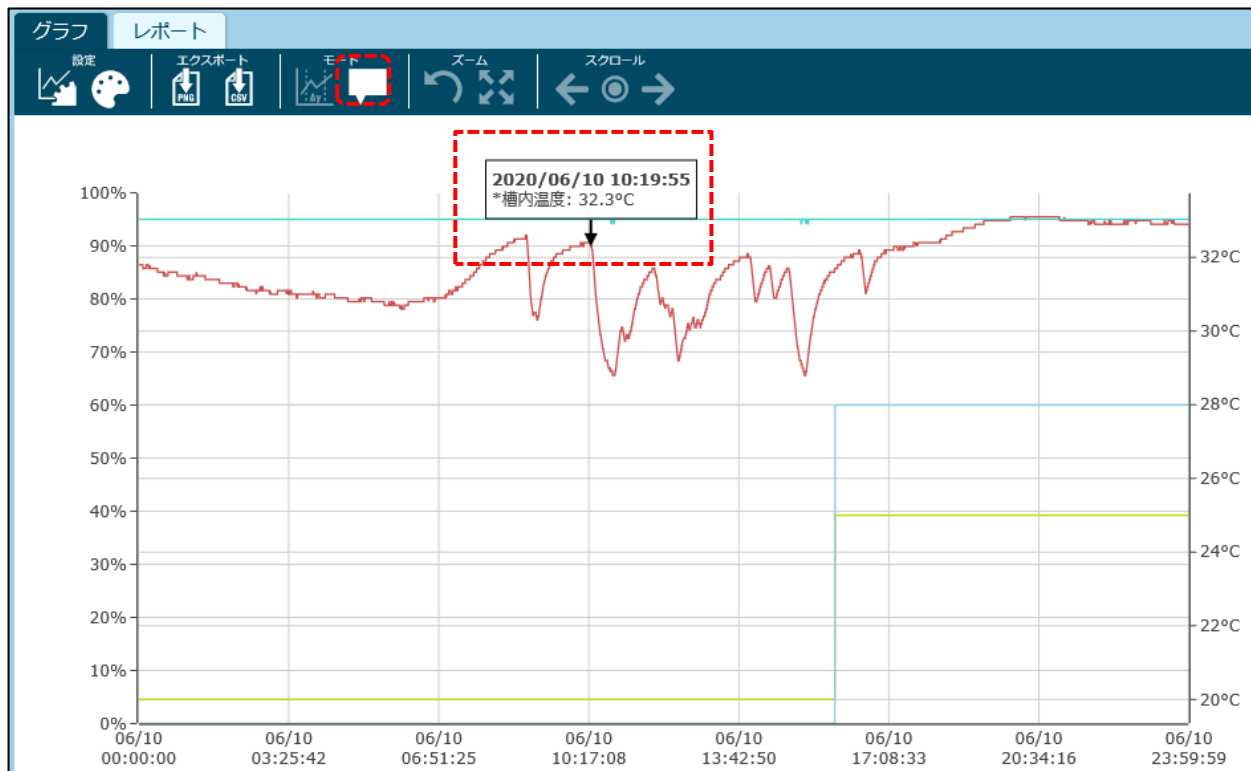
※変化率 = 2点間の差分(°C、%) / 2点間の時間(分)

◆ 参考 ◆

- ・ 時刻が前の点の値が表中の左列に表示されます。
- ・ 時刻ラベルをクリックすると、その点の指定が解除されます。

8.5 グラフにコメント入力する

グラフのポイントにコメントを入力することができます。
 入力したコメントは、グラフ表に表示され印刷することができます。



<手順>

- 1) グラフの上の「コメント追加」のアイコンをクリックします。



- 2) コメントを追加したい点をクリックすると、時刻とクリックしたデータ項目の値が表示されます。

- 3) コメントをクリックするとコメントの内容を編集できます。

コメント上に表示するデータ項目を変更できます。また、コメント上に表示するメッセージを変更できます。

削除 をクリックすると、コメントは削除されます。

◆ 参 考 ◆

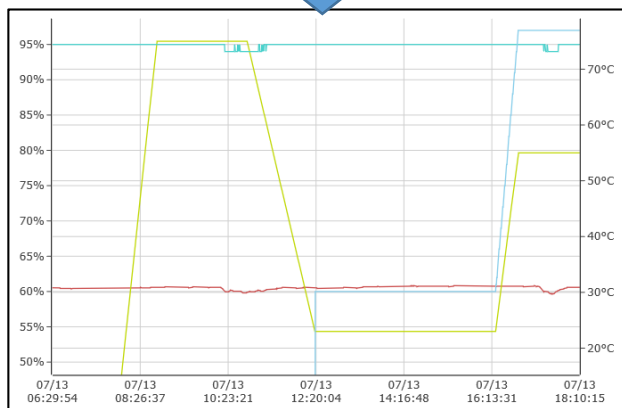
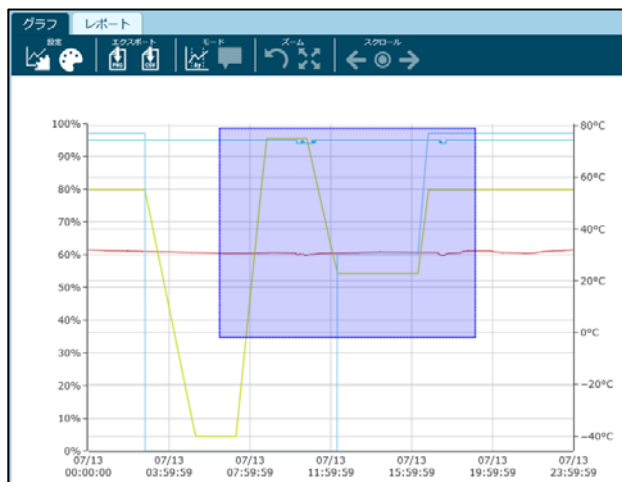
- ・ グラフに追加したコメントは、現在表示中のデータをグラフ表示している間維持されます。グラフ表示条件を変更して、別のデータをグラフ表示するとコメントはクリアされます。
- ・ コメントをドラッグして表示位置を変更できます。

8.6 グラフのズーム、スクロール

グラフの表示範囲を変更することができます。

<手 順>

- 1) グラフ上のズームしたい部分をマウスでドラッグすると、選択した部分がズームされます。



- 2) ズームしている状態で以下のアイコンよりグラフ表示を変更できます。



① ② ③ ④ ⑤

- | | |
|-------------|------------------------|
| ① 戻る | ズームをひとつ前に戻します。 |
| ② リセット | ズームを初期状態へリセットします。 |
| ③ 左スクロール | ズームを維持し、左へスクロールします。 |
| ④ スクロールリセット | ズームを維持し、スクロールをリセットします。 |
| ⑤ 右スクロール | ズームを維持し、右へスクロールします。 |

◆ 参 考 ◆

- ・始めに指定した表示期間を超えて移動することはできません。
- ・ズームやスクロールを行っても、データ解析やコメントの表示は維持されます。

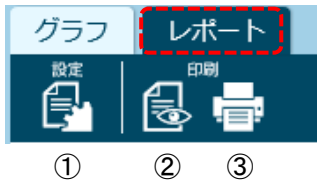
8.7 グラフを印刷する

表示されているグラフを印刷します。印刷する項目を選択することができます。
試験レポートとしてのコメントを入力することができます。

<手 順>

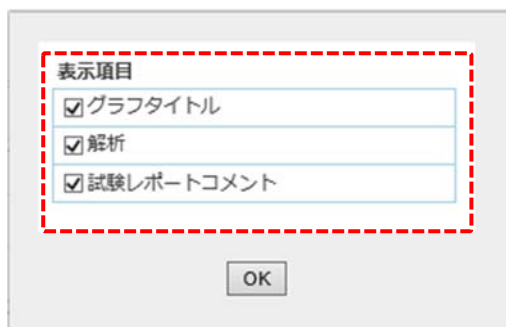
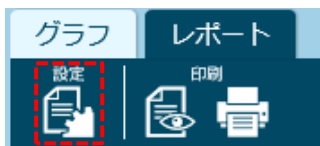
- 1) 印刷したいグラフを表示してください。
設定は「8.2.2 データをグラフ表示」を参照してください。

- 2) 「レポート」をクリックします。



- ①レポート設定 表示する項目を設定します。
- ②印刷プレビュー 印刷プレビューを表示します。
- ③印刷 印刷します。

- 3) 「レポート設定」のアイコンをクリックして印刷する項目を選択し、**OK**をクリックします。



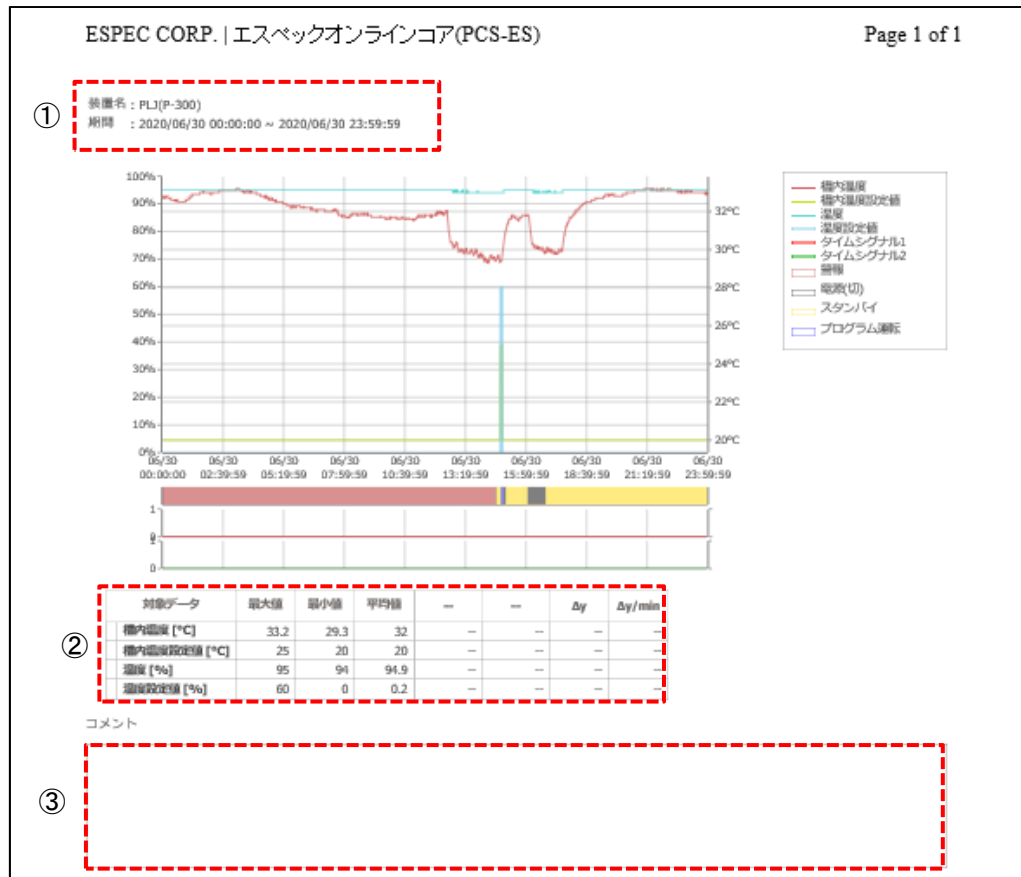
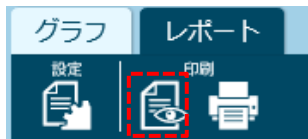
- 4) 試験レポートとしてコメントを入力する場合は
 グラフ下の試験レポートコメント欄に内容を入力してください。
 上部の書式バーで入力内容の書式を変更できます。



(書式バーの内容)

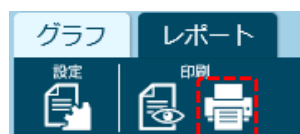
- | | |
|------------|-----------|
| ① 太字 | ⑩ 番号付きリスト |
| ② 斜体 | ⑪ インデント |
| ③ 下線 | ⑫ インデント解除 |
| ④ 取り消し線 | ⑬ 左揃え |
| ⑤ 下付き文字 | ⑭ 中央揃え |
| ⑥ 上付き文字 | ⑮ 右揃え |
| ⑦ フォントサイズ | ⑯ 元に戻す |
| ⑧ フォーマット削除 | ⑰ やり直し |
| ⑨ 箇条書き | ⑱ 水平線を挿入 |

5) 「プレビュー」アイコンをクリックし、印刷内容を確認します。



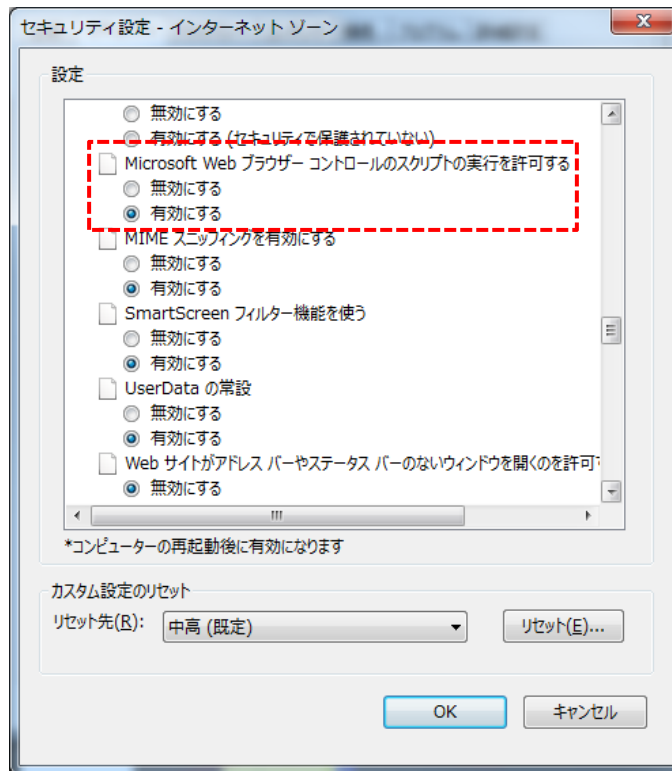
- ① グラフタイトル
- ② 解析
- ③ コメント

6) 「印刷」アイコンをクリックしてください。印刷画面になります。

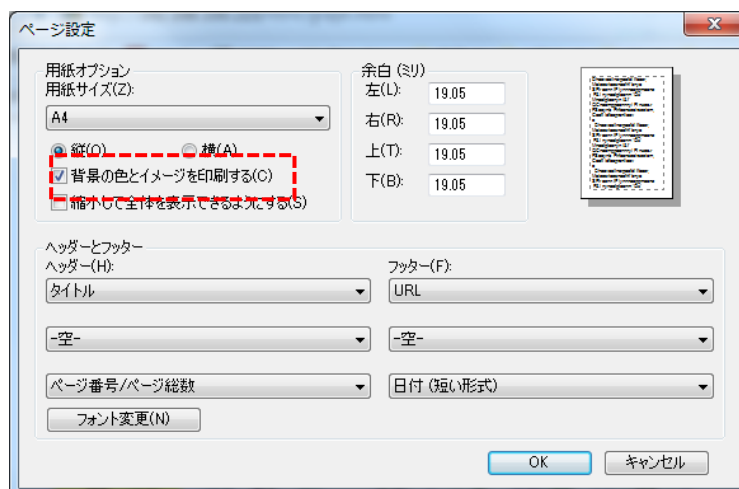


◆ 参 考 ◆

- 以下の設定が無効になっていると、印刷プレビューが表示されません。
Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」→「セキュリティ」タブにて
「レベルのカスタマイズ」をクリックし、以下の設定を「有効する」にしてください。
「Microsoft Web ブラウザーコントロールのスクリプトの実行を許可する」



- 以下の設定をしないと正しく印刷できない場合があります。
Internet Explorer の「ファイル」→「ページ設定」でページ設定画面にて
「背景の色とイメージを印刷する」を ON にしてください。



8.8 スケジュール画面に登録した試験からデータを表示する

スケジュール画面で登録した試験のサンプリングデータをグラフ表示できます。

<手 順>

- 1) スケジュール画面で登録している試験をクリックします。



- 2) 試験詳細画面の上部にあるレポートをクリックします。

レポート 編集 削除 コピー キャンセル

試験詳細

装置	恒温恒湿器 PLJ-1
試験名	試作1
試験色	
開始日時	2016-12-15 00:00:00
終了日時	2016-12-22 17:00:00
日時指定	2016-12-22 17:00:00
試料名	
担当者名	user
試験条件	
終了案内	しない
終了予定超過通知	しない
備考1	
備考2	
備考3	

- 3) 装置履歴画面に遷移し、登録している期間のサンプリングデータでグラフが表示されます。グラフの上にスケジュール画面で登録している以下の試験内容が表示されます。
・試験名 ・試料名 ・試験条件

◆ 参 考 ◆

- ・試験スケジュールの登録期間が 100 日間(グラフ表示可能な最大期間)を超過する場合は、試験開始日時から 100 日間のサンプリングデータをグラフ表示します。


8.9 装置の運転履歴からデータを表示する

装置履歴画面の運転履歴から過去に運転した試験をグラフ表示できます。

<手 順>

- 1) 装置履歴画面の運転履歴を表示します。

日時	装置名	機種	区分	内容	試験名	備考
2020-04-06 15:28:18 (月)	ブラチナスK (PN5-CN)	ブラチナス-K 温度制御有り	終了	停止中		
2020-04-06 15:28:16 (月)	ブラチナス-J(WMA-STD-J)	ブラチナス-J 温度制御有り	終了	停止中		
2020-04-06 09:38:18 (月)	ブラチナスK (PN5-CN)	ブラチナス-K 温度制御有り	開始	定値運転中		
2020-04-06 09:38:16 (月)	ブラチナス-J(WMA-STD-J)	ブラチナス-J 温度制御有り	開始	定値運転中		
2020-04-06 08:49:17 (月)	ブラチナス-J(WMA-STD-J)	ブラチナス-J 温度制御有り	開始	プログラム 運転中	RAM:1 PGM-01	
2020-04-06 08:45:17 (月)	ブラチナス-J(WMA-STD-J)	ブラチナス-J 温度制御有り	開始	プログラム 運転中	RAM:1 PGM-01	
2020-04-06 08:42:18 (月)	ブラチナスK (PN5-CN)	ブラチナス-K 温度制御有り	開始	プログラム 運転中	RAM:1 PGM-01	
2020-04-06 08:42:17 (月)	ブラチナス-J(WMA-STD-J)	ブラチナス-J 温度制御有り	開始	プログラム 運転中	RAM:1 PGM-01	

- 2) 運転区分が「開始」の履歴にあるグラフ  のアイコンをクリックします。
- 3) 指定した履歴の試験期間のサンプリングデータがグラフ表示されます。
グラフの上に運転履歴内の以下の試験内容が表示されます。
・試験名 ・備考

◆ 参 考 ◆

・運転の「開始」～「終了」の期間が 100 日間(グラフ表示可能な最大期間)を超過する場合は、運転開始日時から 100 日間のサンプリングデータをグラフ表示します。

・運転履歴からの試験期間の判定内容

各装置の運転履歴一覧の開始履歴から終了履歴を試験期間と判定します。

終了履歴がない場合、次の開始履歴までを試験期間とします。

選択した開始履歴の次に履歴がない場合は、現在までを試験期間とします。

パターン 1

・開始履歴 ↓ 試験期間
・終了履歴 ↓

パターン 2

・開始履歴 ↓ 試験期間
(終了なし)
・開始履歴 ↓

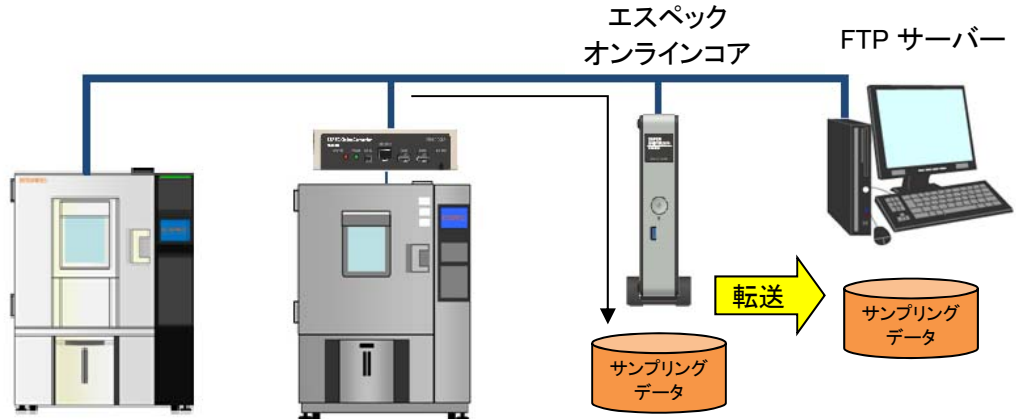
パターン 3

・開始履歴 ↓ 試験期間
(履歴なし)
現在 ↓

9. サンプルングデータ転送機能

エスベックオンラインコアに保存されたサンプルングデータを、別の FTP サーバーへ自動転送(毎日 2:00)を行い、データを 2 重化することができます。

また、転送したいときに手動でサンプルングデータを転送することもできます。



9.1 転送先設定

転送先の FTP サーバーを設定し転送を“ON”にすることで、自動的にサンプルングデータが転送されます。

転送タイミング： 毎日午前 2 時(エスベックオンラインコアの時計)

転送データ： ファイル名の日付が前回の転送分より新しいサンプルングデータ

転送ファイル： CSV ファイル、CLG ファイル

◆ 参 考 ◆

- ・FTP サーバーのユーザー権限
設定する FTP ユーザーは、読み書き可能なユーザー権限である必要があります。
匿名ユーザーの場合でも、読み書きできる必要があります。
- ・保存フォルダ名を入力する際の注意
フォルダ名として、¥ / : * ? & " ' ` < > | . % # の半角記号は使用できません。
また、フォルダ名は UTF-8 の文字コードで作成されるため Windows のエクスプローラーなど Shift-JIS で表示される場合は、全角文字を使用すると文字化けすることがあります。
半角英数字のみを使用することをお勧めします。
- ・ご利用環境について
サンプルングデータ転送には FTP の PASV モードを使用します。
PASV モード未対応の FTP サーバーはご利用になれません。
以下の FTP サーバー環境で動作確認済です。
 - ・マイクロソフト windows FTP サービス 7.5
- ・転送ファイルの内容について
転送されたファイルの内容は、各装置や機器の取扱説明書を参照してください。

転送先設定画面

転送先設定

サンプリングデータ

定期実行	<input checked="" type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
FTPサーバーアドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
FTPポート番号	21
FTPユーザー名	ftpuser
FTPパスワード
保存フォルダ名	espec

保存 手動実行

転送先の FTP サーバーの設定を行います。

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 画面下部の「転送先設定」をクリックし転送先設定画面を表示します。

転送先設定

データの転送先を設定します。

- 3) サンプリングデータを転送しない場合は、定期実行で“OFF”を選択し保存します。
サンプリングデータを転送する場合は、定期実行で“ON”を選択し以下手順を実行します。
- 4) FTP サーバーアドレスに転送先の FTP サーバーのアドレスを入力します。
- 5) FTP ポート番号に転送先の FTP サーバーのポート番号を入力します。
(一般的には“21”が使用されます。特に指定がなければ“21”にしてください)
- 6) FTP ユーザー名と FTP パスワードを入力します。
(匿名ユーザーでアクセスする場合は、両方とも空白にします)
- 7) 転送先の FTP サーバーでの保存フォルダ名を入力します。
- 8) 入力が終わりましたら、**保存**をクリックします。
- 9) 入力した FTP サーバーの設定内容が正しいかを確認する場合は、
装置からサンプリングデータをエスペックオンラインコアに転送してから
手動実行をクリックし、指定した FTP サーバーに転送できているかを確認します。

※転送するデータが多い場合は、時間がかかる場合があります。

転送データ: ファイル名の日付が前回の転送分より新しいサンプリングデータ
(ファイル名が当日分のサンプリングデータは毎回転送されます)

◆ 参 考 ◆

・転送データの制限

転送時には負荷を低減するため、前回転送分より新しいファイルのみを転送します。

また、転送先を設定して初めて転送するときや、長期間の断線から復帰したときには大量にデータが転送される場合があります、他の機能に影響を与える可能性があるため最新の 1 ヶ月分のファイルのみを転送するように制限しています。

※過去 1 ヶ月分よりも古いサンプリングデータを転送したい場合は

PC から Windows のエクスプローラーや一般的な FTP クライアントソフトを使用し
エスペックオンラインコアにログインして必要なデータを手動でコピーしてください。

・エスペックオンラインコアに FTP でログインする設定内容

ホスト名: (エスペックオンラインコアの IP アドレス)

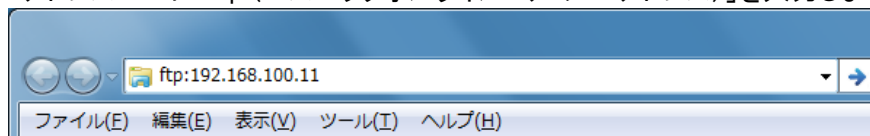
ポート番号: 21

ユーザー名: ftpuser

パスワード: espec

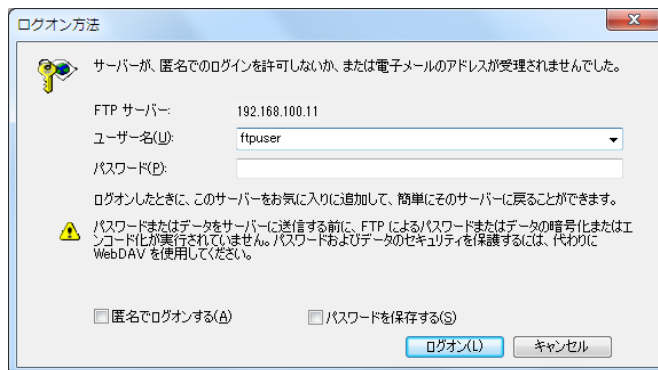
＜Windows のエクスプローラーでエスペックオンラインコアにログインする方法＞

- 1) アドレスバーに「ftp:(エスペックオンラインコアの IP アドレス)」を入力します。

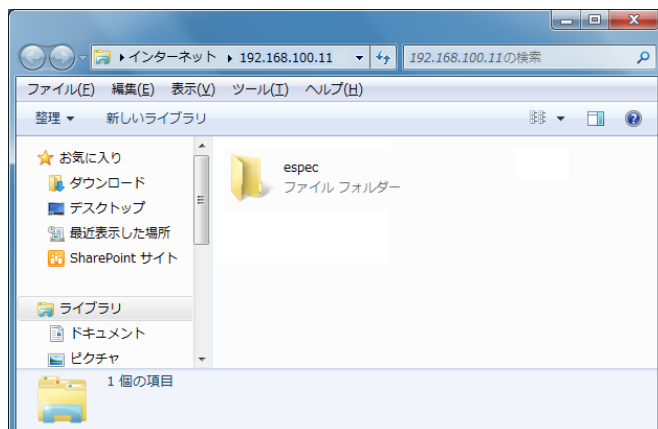


- 2) 以下のログイン画面が表示されます。

ユーザー名とパスワードを入力し **ログオン(L)** をクリックします。



- 3) エスペックオンラインコアにログインし、手動でコピーや削除ができます。



10. 稼働率モニター機能

装置をエスペックオンラインコアに接続し、定周期で稼働状況を収録することで、装置の稼働率や総運転時間をモニターすることができる機能です。

装置の稼働率を確認できることで、装置の運用計画が立てやすくなります。

10.1 装置履歴画面

装置履歴画面に稼働率が表示されます。

◆ 参 考 ◆

稼働率の集計と装置の状態については次の通りとなります。

稼働中として集計する装置の状態

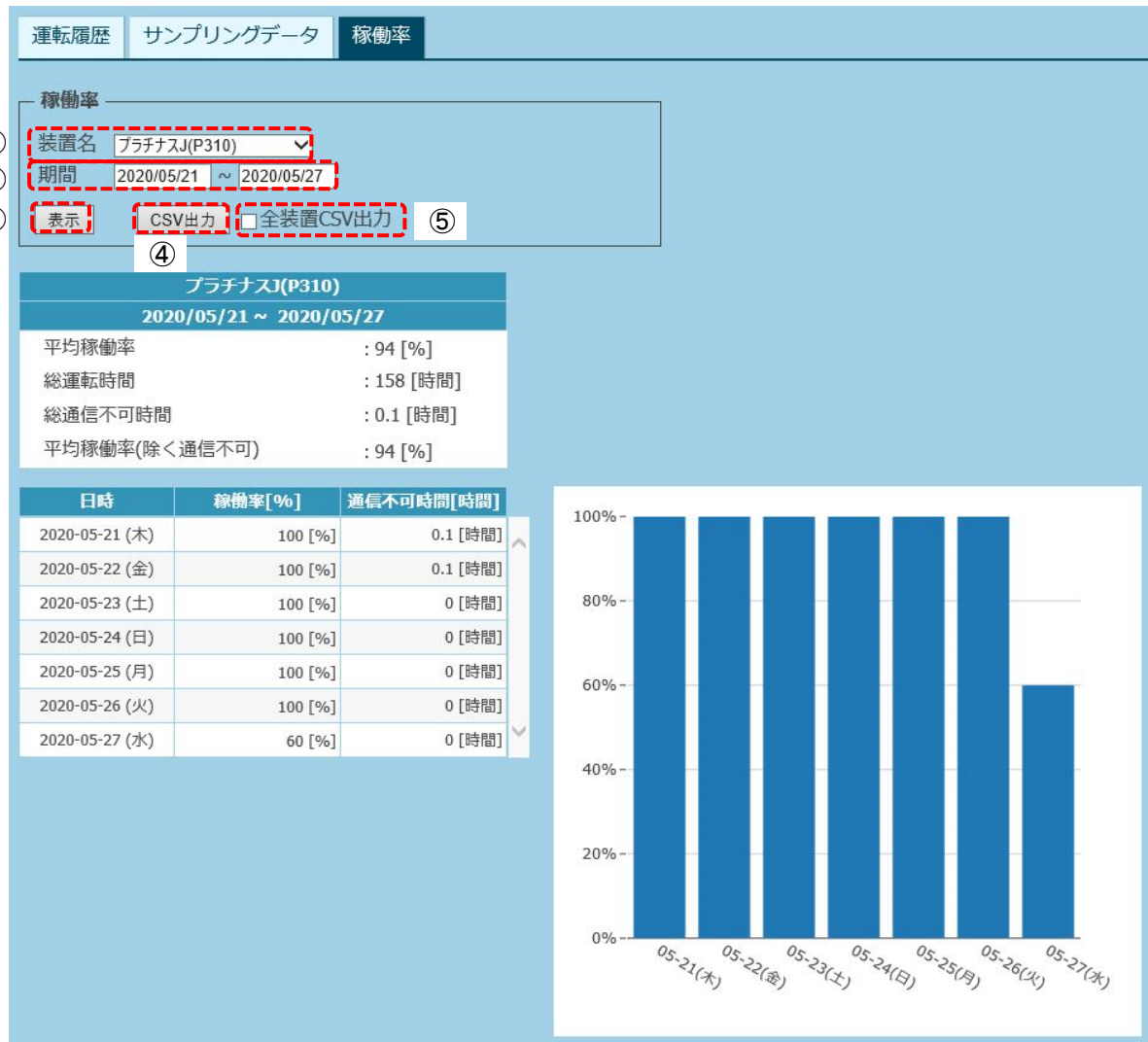
- ・定値運転、プログラム運転、サイクル運転中
- ・プログラム運転 一時停止中、中断中
- ・試験予約、準備予約中
- ・乾燥運転、後処理/前処理、除霜運転
- ・液温戻し運転、ブライン回収動作

非稼働として集計する装置の状態

- ・エスペックオンラインコアの電源が入っていない場合
- ・装置の漏電ブレーカーが OFF の場合
- ・LAN ケーブルや RS-485 ケーブルが抜けている場合など
「lan error」、「time out」のエラーのとき
- ・通信品質により定期的に通信できなかった場合
- ・運転停止、電源(切)、ウォームアップ中

通信不可時間として集計する装置の状態

- ・装置の漏電ブレーカーが OFF の場合
- ・LAN ケーブルや RS-485 ケーブルが抜けている場合など
「lan error」、「time out」のエラーのとき
- ・通信品質により定期的に通信できなかった場合



- ① 装置名 装置を選択します。
- ② 期間 集計する期間を設定します。
- ③ 表示 設定した条件を表示します。
- ④ CSV 出力 設定した条件で CSV 出力をします。
- ⑤ 全装置 CSV 出力 設定した期間の接続している全装置の CSV 出力をします。

<手順>

- 1) メニュータブの“装置履歴”をクリックし、「稼働率」を選択します。
- 2) 装置名をプルダウンから選択します。
- 3) 表示する期間を指定します。



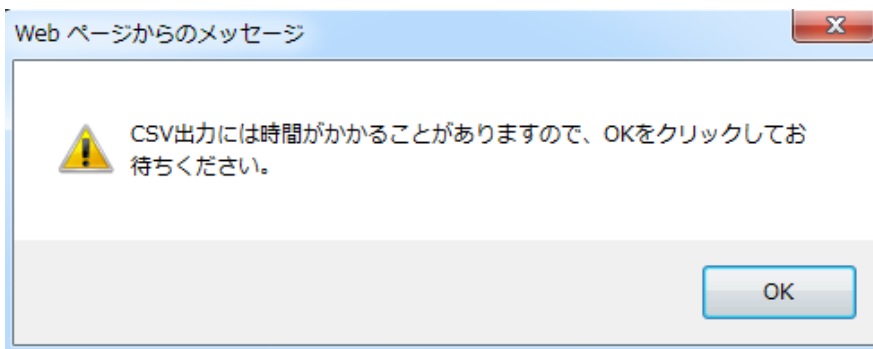
- 4) **表示**をクリックすると、稼働率、総運転時間を表示します。

(モニター表示、CSV 出力内容)

- ・ 指定された期間の 1 日あたりの稼働率(%)、通信不可時間(時間)
- ・ 指定された期間の平均稼働率(%)、総運転時間(時間)、総通信不可時間(時間)、平均稼働率(除く通信不可時間)

- 5) CSV 形式(カンマ区切り)で出力する場合

CSV 出力をクリックしてください。以下のメッセージが表示されます。**OK**をクリックしてください。
全ての装置を出力したい場合は ☒ 全装置 CSV 出力を ON にしてください。



以下の画面が表示されますので、表示またはダウンロード先を指定してください。



表示されている稼働率、総運転時間が CSV ファイルでダウンロードされます。

◆ 参 考 ◆

- ・通信品質により定周期で通信できなかった場合、稼働率や総運転時間が正しく表示されない場合があります。
- ・稼働率、総運転時間は、前日までの稼働データをもとに集計して 1 日単位で算出しております。当日の稼働率、総運転時間は集計されません。
- ・稼働率、総運転時間は当社の温(湿)度タイプ、冷熱タイプ、HAST タイプ、TCC の製品にお使いいただけます。他社製品のデジタルマルチメーター、レコーダー、ネットワークカメラ、リモート I/O、純水製造装置、および、当社ウェブカメラは稼働率、総運転時間の集計はできません。
- ・装置を登録、置き換えする場合は、システム設定画面の装置設定で追加、削除を行ってください。編集で行うと前の装置の稼働率情報が引き継がれます。
例) 冷熱からプラチナス J に装置を置き換える場合
編集で、冷熱(装置名、機種、システム名、IP アドレス)をプラチナス J に変更した場合、過去の稼働率情報(冷熱)と新しい稼働率情報(プラチナス J)が一つの表で表示されます。このとき、装置情報はプラチナス J として表示されます。稼働率を引き継がない場合は、冷熱の登録を削除してから、プラチナス J を追加で登録するようにしてください。
- ・システム設定画面の装置設定で装置を削除した場合は、稼働率情報を表示、CSV 出力することはできません。稼働率情報が必要な場合は、事前に CSV ファイルに出力した上で、装置の削除を行ってください。

11. ストレージ容量管理機能

ストレージの現在の使用量と空き容量を確認できます。

また、保存しているサンプリングデータを削除し、空き容量を増やすことができます。

11.1 ストレージ使用量表示

エスペックオンラインコアのストレージ(保存領域)の使用量を表示します。

ストレージの使用量を表示し、空き容量が 10%以下になると通知します。

ストレージ容量管理

使用量

9.6 GB / 380.0 GB (2.5 %)

0 GB

100 GB

200 GB

300 GB

380 GB

その他

サンプリングデータ

未使用

データを削除して空き容量を増やす

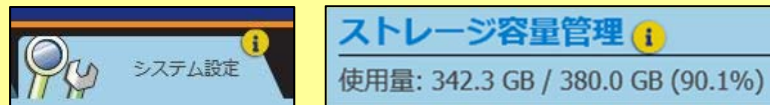
削除対象を指定してデータを削除

データ	<input checked="" type="checkbox"/> サンプリングデータ
期間	<input type="text"/> 以前
装置	<div> <input type="checkbox"/> New Room1 </div> <div> <input type="checkbox"/> ブラチナスJ(P310) <input type="checkbox"/> PLJ(P-300) <input type="checkbox"/> 小型環境SH-641 <input type="checkbox"/> 小型環境試験機(P-200) </div> <div> <input type="checkbox"/> TSA-73 <input type="checkbox"/> TSA <input type="checkbox"/> TSA3 <input type="checkbox"/> PH-202 </div> <div> <input type="checkbox"/> PLJ-A <input type="checkbox"/> 計測器 <input type="checkbox"/> ETAC <input type="checkbox"/> tsa-1 conv </div> <div> <input type="checkbox"/> リモートIO <input type="checkbox"/> TCC-1 <input type="checkbox"/> MT-100 </div> <div> <input type="checkbox"/> 新規部屋1 </div> <div> <input type="checkbox"/> キヤノンカメラ <input type="checkbox"/> パナソニックカメラ <input type="checkbox"/> GL840 <input type="checkbox"/> WEBマネージャーカメラ </div> <div> <input type="checkbox"/> コンバーターカメラ </div> <div> <input type="checkbox"/> 新規部屋5 </div> <div> <input type="checkbox"/> 湿度付き冷熱 <input type="checkbox"/> PK1 </div>

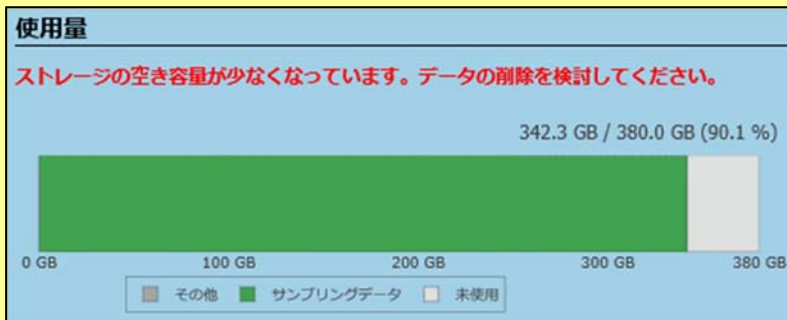
実行

<空き容量が 10%以下>

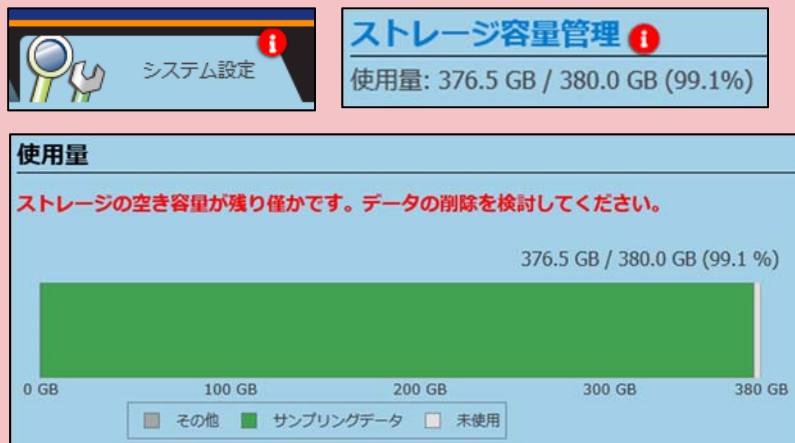
メニュータブとシステム設定画面にアイコンを表示し、通知します。



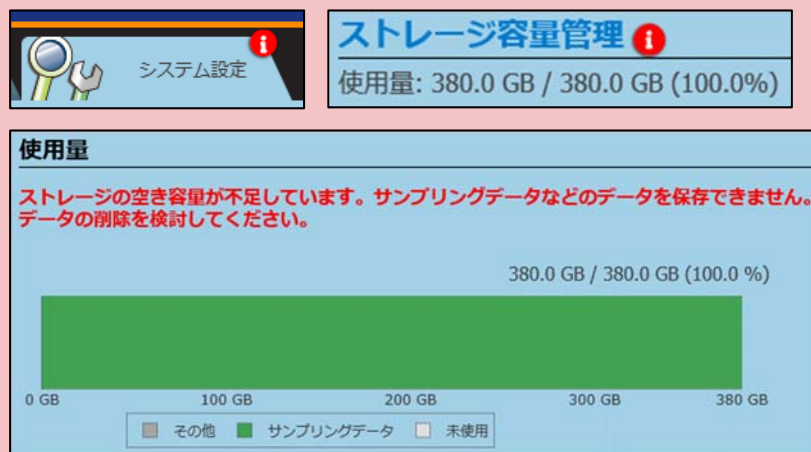
ストレージ容量管理で使用量を表示し、通知します。



<空き容量が 1%以下>



<空き容量無し>



11.2 データ削除

サンプリングデータを削除して空き容量を増やすことができます

<手 順>

- 1) システム設定タブよりシステム設定画面を開きます。
- 2) 「ストレージ容量管理」をクリックし[ストレージ容量管理]画面を表示します。

ストレージ容量管理

使用量: 9.6 GB / 380.0 GB (2.5%)

- 3) 削除対象のデータの期間と装置を指定します。

データを削除して空き容量を増やす

削除対象を指定してデータを削除

データ	<input checked="" type="checkbox"/> サンプリングデータ			
期間	2020/05/06 以前			
装置	<input type="checkbox"/> New Room1			
	<input type="checkbox"/> ブラチナスJ(P310)	<input type="checkbox"/> PLJ(P-300)	<input type="checkbox"/> 小型環境SH-641	<input type="checkbox"/> 小型環境試験機(P-200)
	<input type="checkbox"/> TSA-73	<input type="checkbox"/> TSA	<input type="checkbox"/> TSA3	<input type="checkbox"/> PH-202
	<input type="checkbox"/> PLJ-A	<input type="checkbox"/> 計測器	<input type="checkbox"/> ETAC	<input type="checkbox"/> tsa-1 conv
	<input type="checkbox"/> リモートIO	<input checked="" type="checkbox"/> TCC-1	<input type="checkbox"/> MT-100	
	<input type="checkbox"/> 新規部屋1			
	<input type="checkbox"/> キヤノンカメラ	<input type="checkbox"/> パナソニックカメラ	<input type="checkbox"/> GL840	<input type="checkbox"/> WEBマネージャーカメラ
	<input type="checkbox"/> コンバーターカメラ			
	<input type="checkbox"/> 新規部屋5			
	<input type="checkbox"/> 湿度付き冷熱	<input type="checkbox"/> PK1		

実行

- 4) 実行をクリックすると下記のメッセージが表示されるので、OKをクリックします。

Web ページからのメッセージ

データを削除しますか？
※削除したデータを元に戻すことはできません。

OK キャンセル

- 5) 指定したデータが削除されます。